

「若い世代への生活意識調査」 報告書

平成 31 年（2019 年）2 月

横 須 賀 市

目 次

I 調査目的および実施方法等	1
II 調査回答者の属性	2
III 集計結果	3
1 定住意識について	4
(1) 居住開始時期	4
(2) 定住意識	6
① 市外に転居したい理由	8
② 転居したい場所	11
2 就業意識について	12
(1) 就職状況	12
① 「就職している」人に対する設問	
① - 1 就業形態	13
① - 2 就職先の地域	14
① - 3 就職先に横須賀市外を選んだ理由	15
② 「就職していない」人に対する設問	
② - 1 就職希望の有無	16
② - 2 希望する就業形態	17
② - 3 希望する仕事内容	18
② - 4 就職・起業したい地域	20
② - 5 横須賀市外で就職したい理由	21
(2) 市内就業者を増やすために有効だと思う取り組み	22
3 買い物環境について	26
(1) 日用品の買い物環境に対する満足度	26
① 日用品の買い物環境に不便・不満を感じる理由	28
(2) 日用品以外の買回り品の買い物環境に対する満足度	29
② 買回り品の買い物環境に不便・不満を感じる理由	31
(3) 市内で買い物をしたくなるために必要な環境	33
その他（ご意見・ご提案）	35
IV 調査票	55

I 調査目的および実施方法等

1 調査目的および調査項目

人口減少が進む本市において、特に転出超過の状態が続いている若い世代の意識を把握し、今後の施策展開の参考にすることを目的として、調査を実施。

調査に当たっては、居住地の選択の際に、その意思決定に影響を及ぼす要素として考えられる「仕事」および「買い物環境」を中心に、設問を設定した。

【調査項目】

調査項目	設問番号
1 定住意識について	問 1～問 4
2 就業意識について	問 5～問 14
3 買い物環境について	問 15～問 16
基本的な属性 (F 1～4)	F 1 性別 / F 2 年齢 / F 3 世帯の状況 / F 4 居住地域

2 調査概要

調査対象	18歳から29歳までの市民3,000人 (平成30年(2018年)10月1日現在；住民基本台帳から無作為抽出)
調査方法	・対象者に調査票を送付 ・回答方法は、郵送とインターネットのいずれかを選択
調査期間	平成30年(2018年)10月17日～11月7日 * 発送日－投函締切日
回収数	951件 うち、インターネット回答；198件 (20.8%)
回収率	31.7%
実施機関等	調査の企画・分析は、横須賀市政策推進部都市政策研究所で実施

3 その他

- ・ 基数となるべき実数 (n) は、各設問に対する有効回答者数である。
- ・ 回答割合 (%) は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がある。また、複数回答の設問では、割合の合計が100%を超える。
- ・ 回答数が少ない設問については、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として集計結果を示すにとどめる。

Ⅱ 調査回答者の属性

1 性別

	件数(人)	構成比(%)
男性	379	39.9
女性	553	58.1
その他、無回答	19	2.0
合計	951	100.0

2 回答方法

	件数(人)	構成比(%)
郵送	753	79.2
インターネット	198	20.8
合計	951	100.0

3 年代／性別

	全体		男性		女性		その他、無回答	
	件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)
18～19歳	184	19.3	77	20.3	104	18.8	3	15.8
20～24歳	361	38.0	147	38.8	208	37.6	6	31.6
25～29歳	405	42.6	155	40.9	240	43.4	10	52.6
(無回答)	1	0.1	0	-	1	0.2	0	-
合計	951	100.0	379	100.0	553	100.0	19	100.0

4 居住地域

	件数(人)	構成比(%)
本庁地区	136	14.3
追浜地区	66	6.9
田浦地区	40	4.2
逸見地区	58	6.1
衣笠地区	119	12.5
大津地区	120	12.6
浦賀地区	113	11.9
久里浜地区	132	13.9
北下浦地区	87	9.1
西地区	76	8.0
(無回答)	4	0.4
合計	951	100.0

5 居住開始時期 (p. 4) ※

	件数(人)	構成比(%)
生まれてからずっと	570	60.1
就学前～小学生の時から	164	17.3
中学生～高校生の時から	13	1.4
大学生の時から	26	2.7
就職を機に	84	8.9
結婚を機に	45	4.7
上記以外	47	5.0
合計	949	100.0

※無回答(2件)を除いて集計

Ⅲ 集計結果

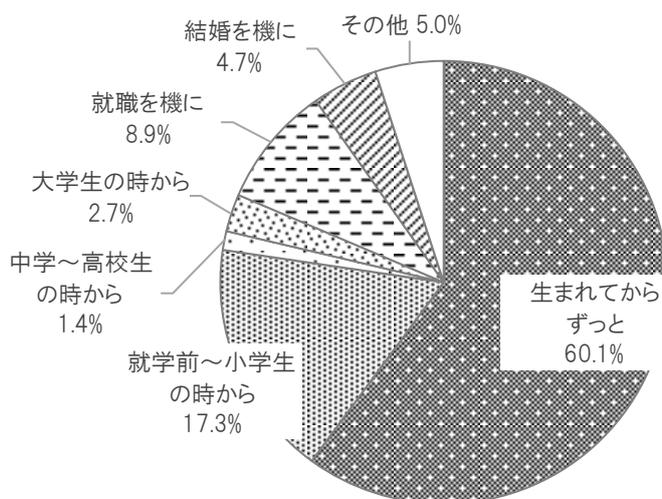
1 定住意識について

(1) 居住開始時期

問1 あなたは、いつから横須賀市にお住まいですか。(〇は1つ)

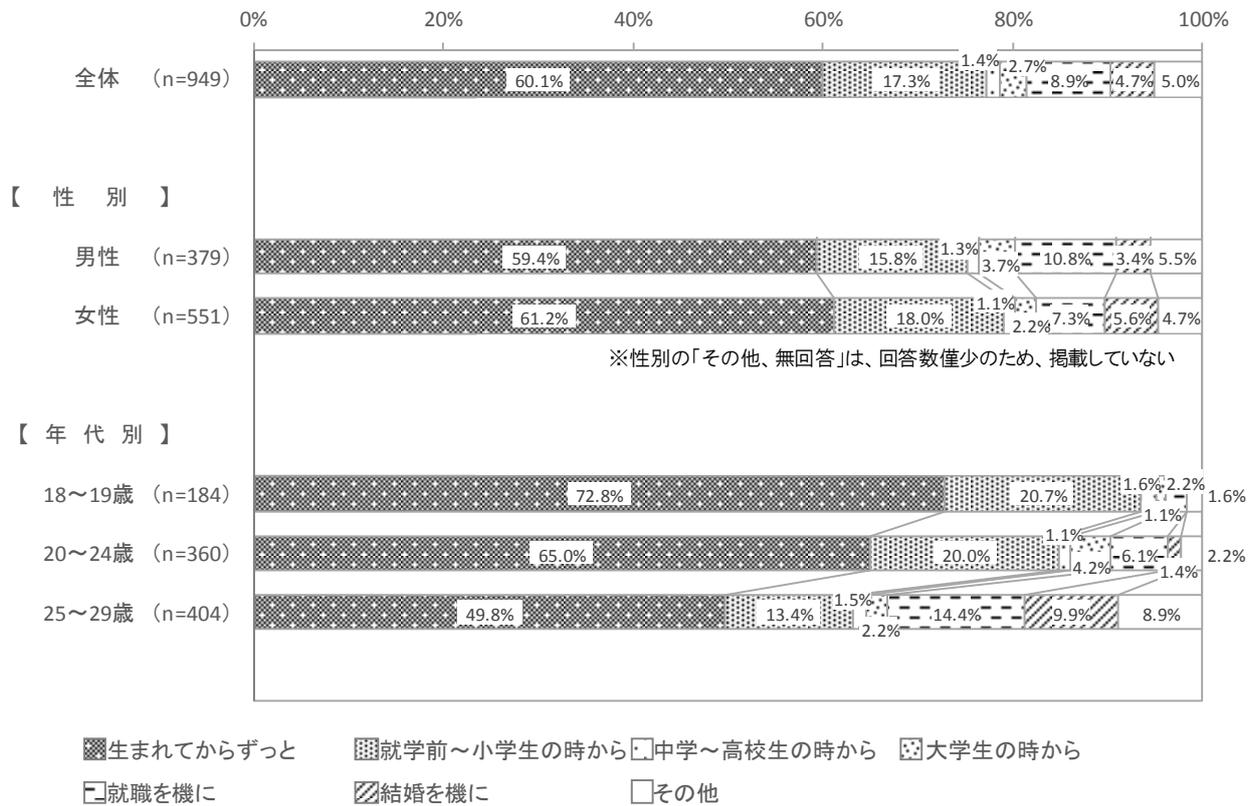
- ・ 「生まれてからずっと」(60.1%)、「就学前～小学生の時から」(17.3%)を合わせると、回答者の約8割に上り、回答者の多くが幼少期から居住し続けている。
- ・ 一方で、「大学生の時から」、「就職を機に」、「結婚を機に」といった回答者自らの選択による居住の割合は、2割を切る状況(「大学生の時から」(2.7%)、「就職を機に」(8.9%)、「結婚を機に」(4.7%)の合算)で、他都市からの転入が少ない状況がうかがえる。

図表 1-1 居住開始時期 (n=949)



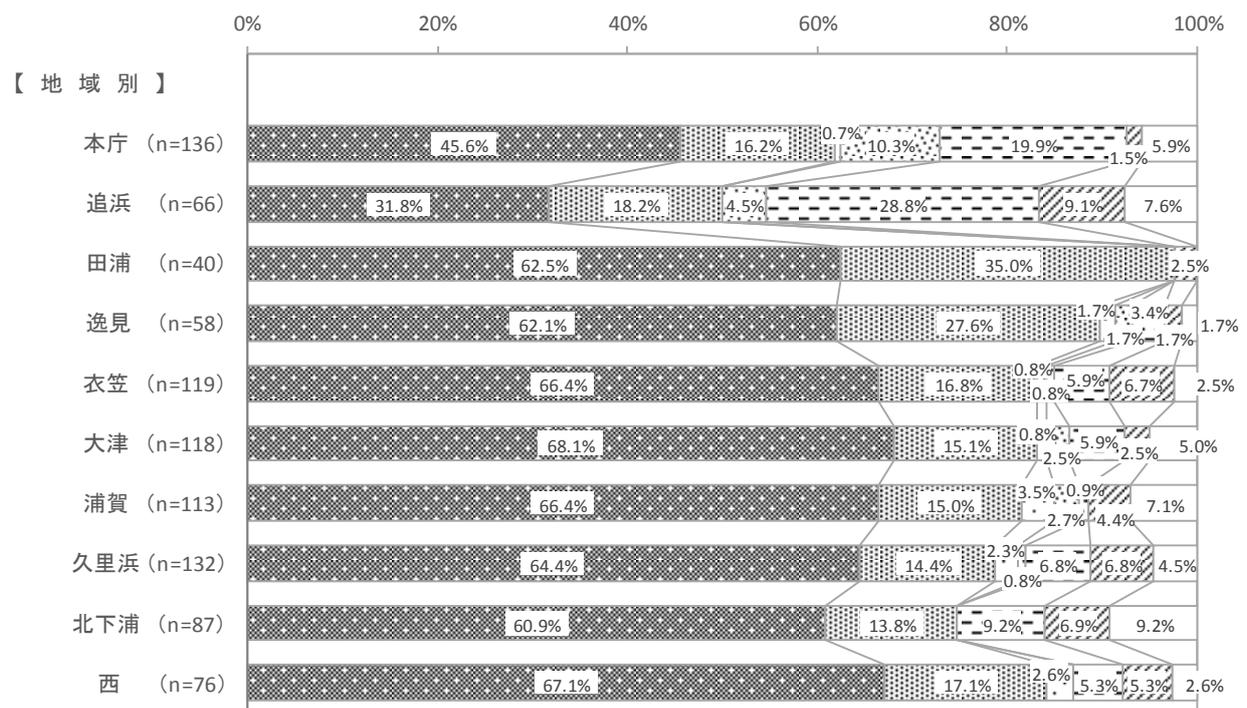
件数 (人)								(%)	
	生まれて からずっと (①)	就学前～ 小学生の 時から (②)	中学～ 高校生の 時から (③)	大学生の 時から (④)	就職を機に (⑤)	結婚を機に (⑥)	その他 (⑦)	①+②	④+⑤+⑥
949	60.1	17.3	1.4	2.7	8.9	4.7	5.0	77.4	16.3

図表 1-2 居住開始時期（性別、年代別）



＜参考＞ 図表 1-3 居住開始時期（地域別）

※回答数が少ない地域が含まれるため、参考扱い

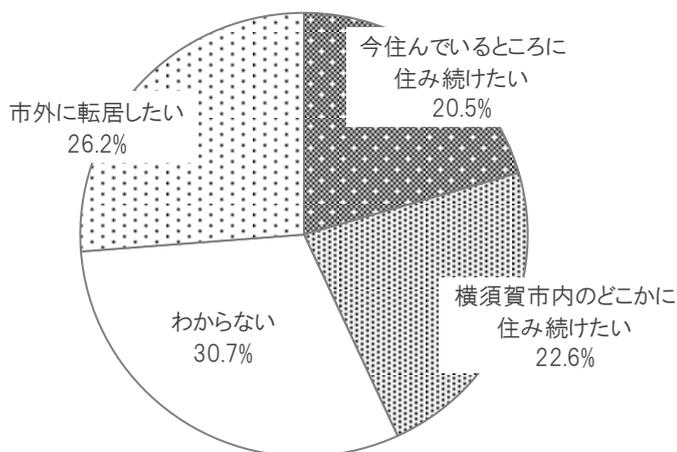


(2) 定住意識

問2 あなたは、これからも横須賀市に住み続けたいですか。(○は1つ)

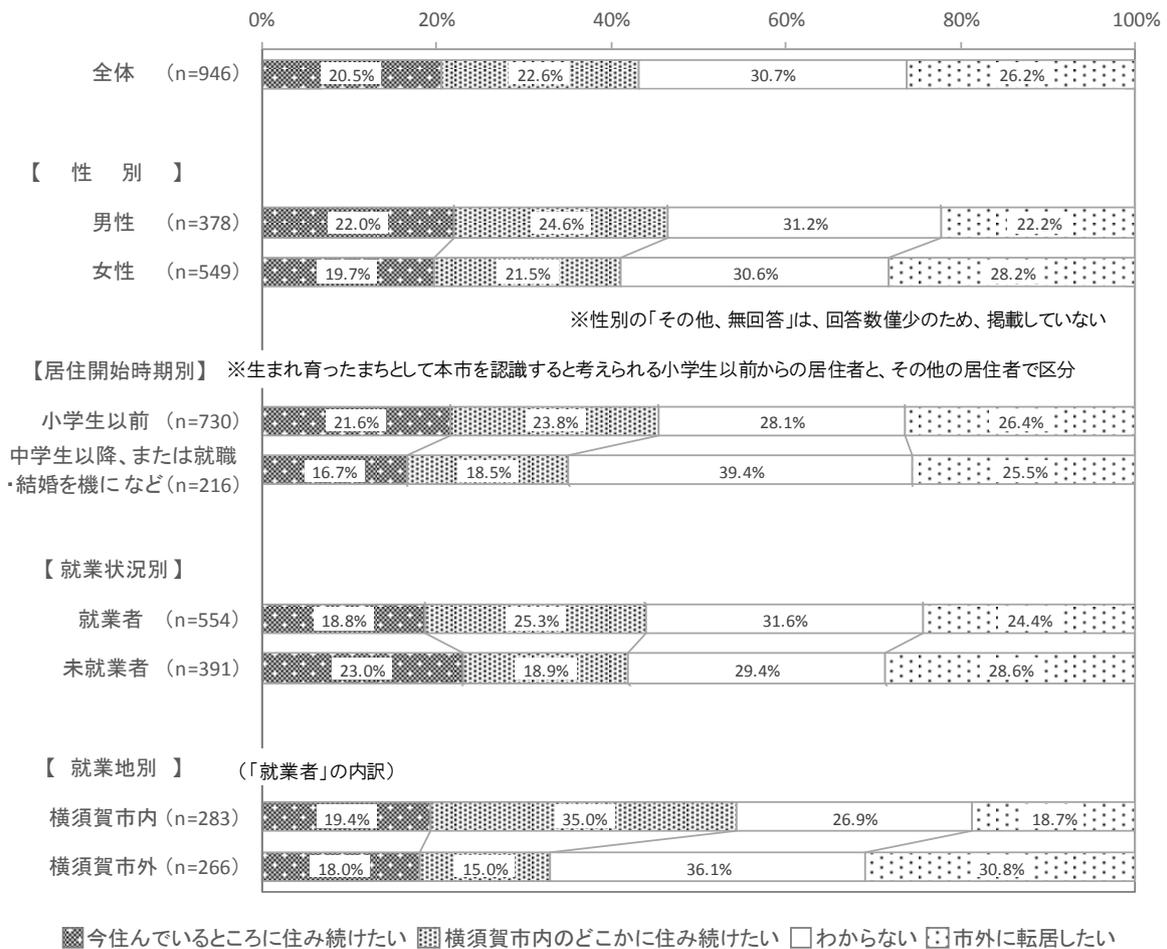
- ・ 回答者の約4割が、市内に住み続けたいと回答（「今住んでいるところに住み続けたい」(20.5%)、「横須賀市内のどこかに住み続けたい」(22.6%)の合算）。
- ・ 一方で、回答者の3割近くが「市外に転居したい」を選択。また、回答者の約3割が「わからない」を選択しており、今回は若い世代を対象とした調査であることから、まだ将来を具体的に意識していない回答者が多くいることが推察される。
- ・ 居住開始時期別では、小学生以前からの居住者(45.4%)は、中学生以降、または就職・結婚を機に居住を始めた人(35.2%)に比べて定住意識が高い。
- ・ また、就業地別で見ると、市内就業者(54.4%)は、市外就業者(33.0%)と比べて定住意識が高い状況にある。

図表 1-4 定住意識 (n=946)



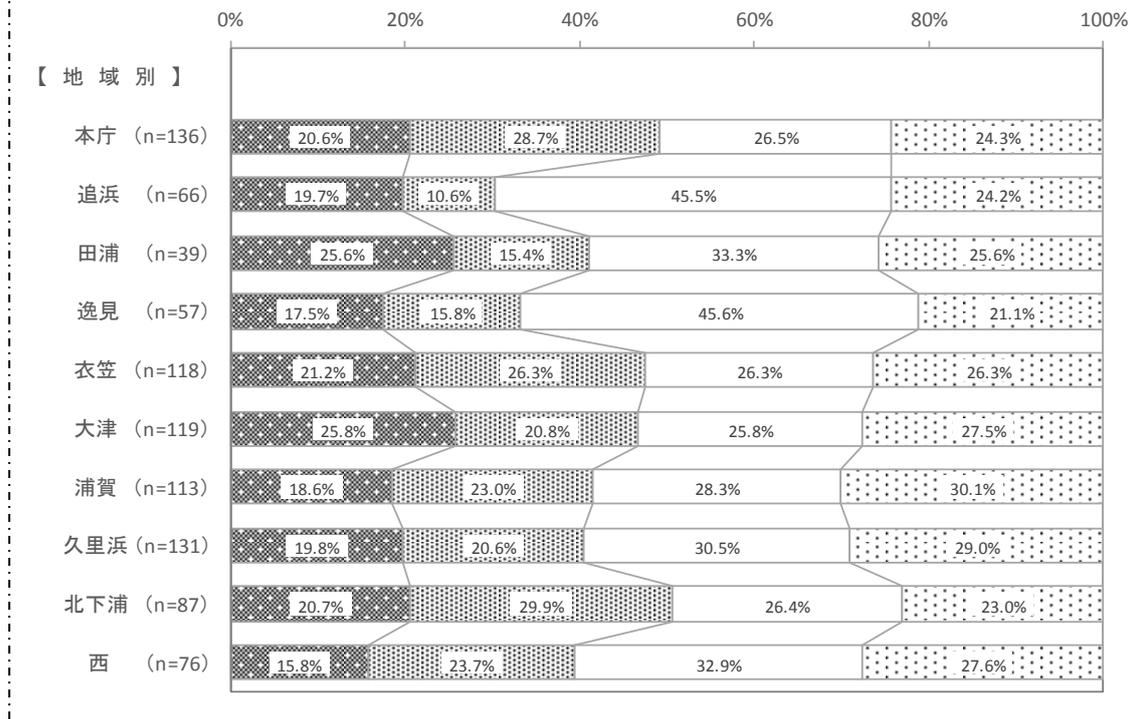
件数 (人)	(%)				
	今住んでいるところに 住み続けたい (①)	横須賀市内のどこかに 住み続けたい (②)	わからない (③)	市外に転居したい (④)	①+②
946	20.5	22.6	30.7	26.2	43.1

図表 1-5 定住意識（性別、居住開始時期別、就業状況別、就業地別）



《参考》 図表 1-6 定住意識（地域別）

※回答数が少ない地域が含まれるため、参考扱い



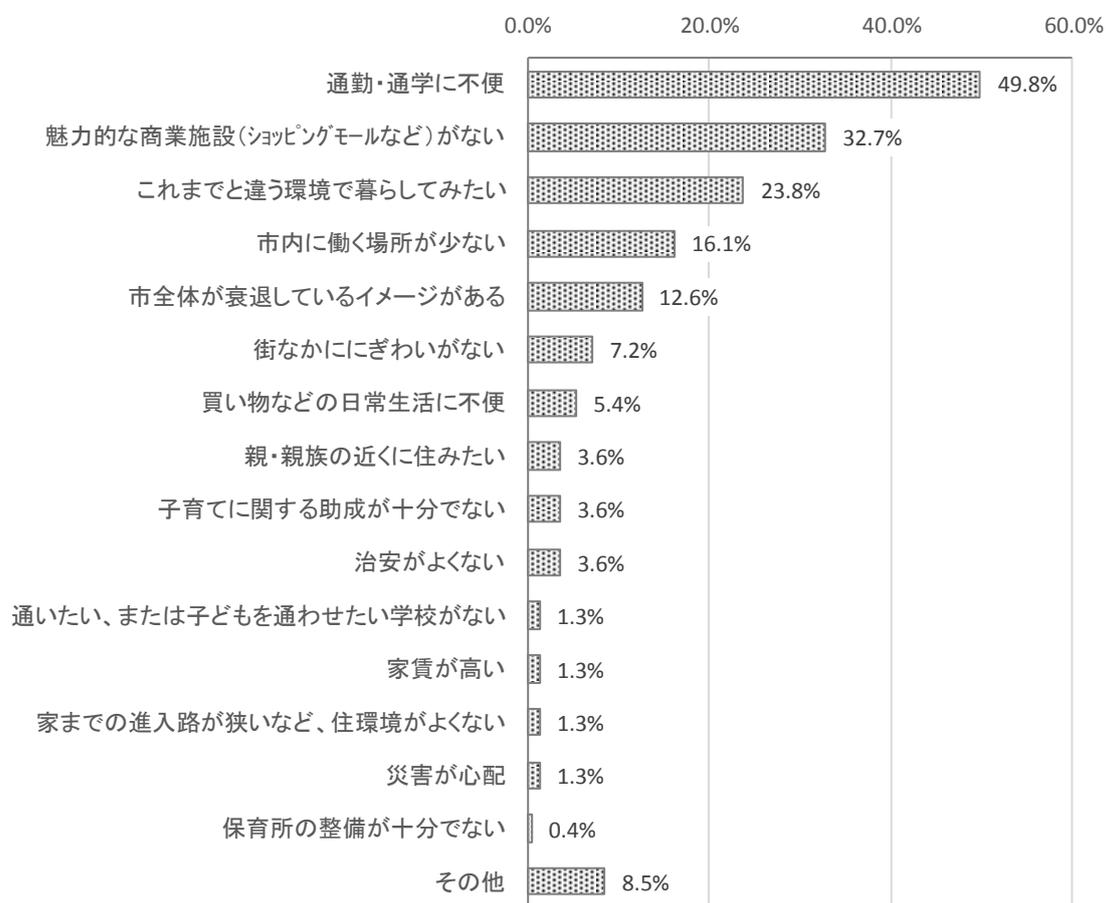
① 市外に転居したい理由

問3 市外に転居したい理由は何ですか。(○は2つまで)

【問2で「市外に転居したい」を選んだ人のみ】

- ・ 「通勤・通学に不便」(49.8%)、「魅力的な商業施設(ショッピングモールなど)がない」(32.7%)、「これまでと違う環境で暮らしてみたい」(23.8%)の順に多く選択された。
- ・ なお、居住開始時期別で見ると、小学生以前から居住しているグループでは、「親・親族の近くに住みたい」、「家賃が高い」の選択は皆無だった。

図表 1-7 市外に転居したい理由 (n=223)

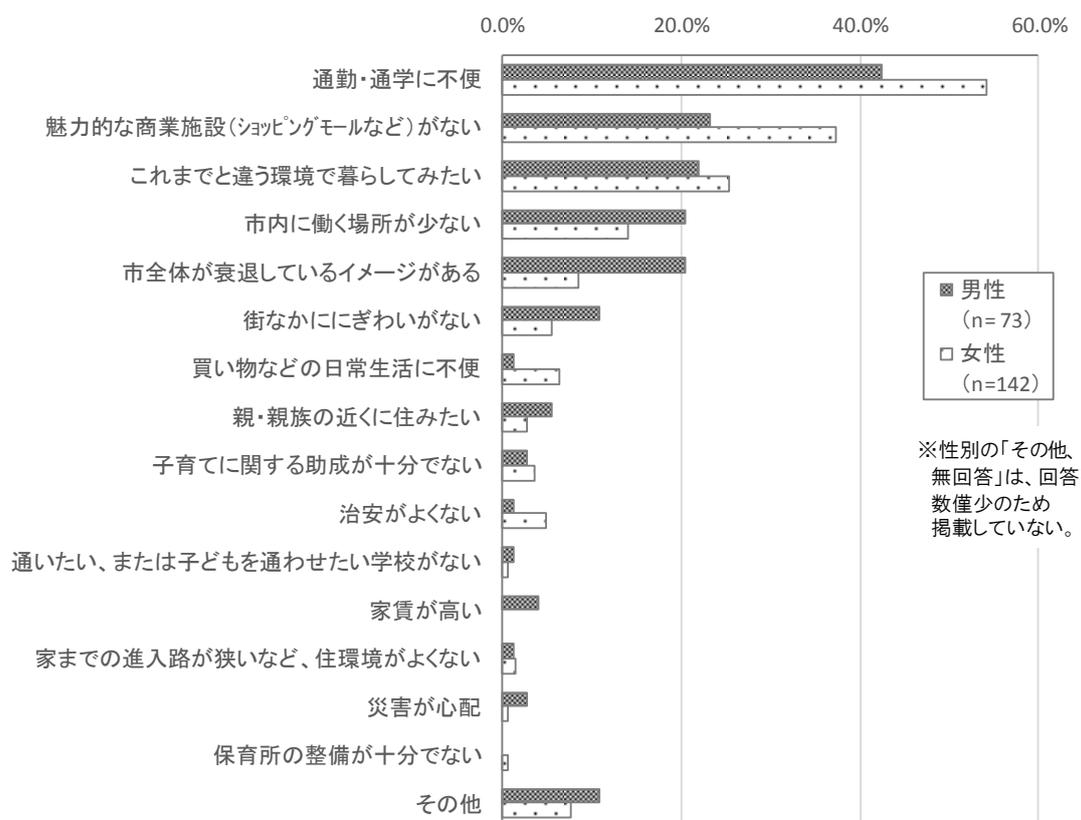


*「その他」の主な内容:「都心に近いところに住みたい」など

※回答は2つまでの複数選択のため、割合の合計は100%にはならない

《参考》 図表 1-8 市外に転居したい理由（性別）

※回答数が少ない区分が含まれるため、参考扱い

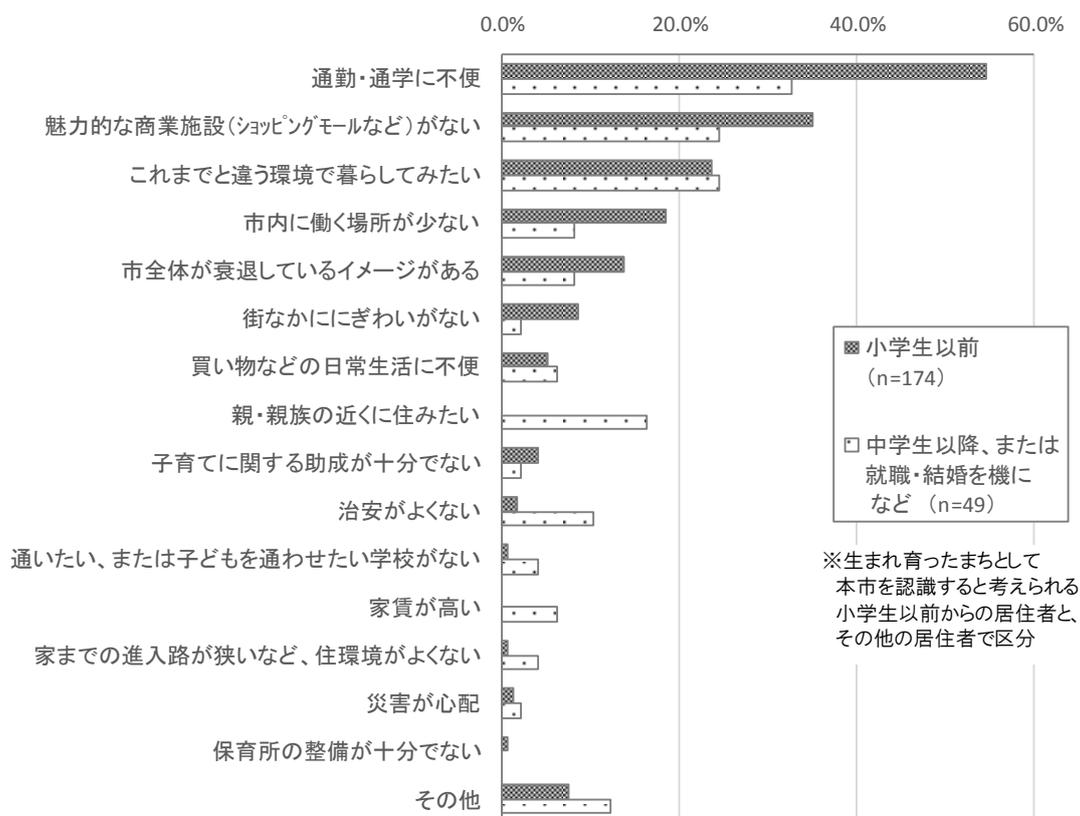


※性別の「その他、無回答」は、回答数僅少のため掲載していない。

項目	全体 (n=223)		男性 (n=73)		女性 (n=142)		その他、無回答 (n=8)	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
通勤・通学に不便	1	49.8	1	42.5	1	54.2	1	37.5
魅力的な商業施設(ショッピングモールなど)がない	2	32.7	2	23.3	2	37.3	1	37.5
これまでと違う環境で暮らしてみたい	3	23.8	3	21.9	3	25.4	4	12.5
市内に働く場所が少ない	4	16.1	4	20.5	4	14.1	4	12.5
市全体が衰退しているイメージがある	5	12.6	4	20.5	5	8.5	4	12.5
街なかのにぎわいがない	6	7.2	6	11.0	7	5.6	—	0.0
買い物などの日常生活に不便	7	5.4	11	1.4	6	6.3	3	25.0
親・親族の近くに住みたい	8	3.6	7	5.5	10	2.8	—	0.0
子育てに関する助成が十分でない	8	3.6	9	2.7	9	3.5	4	12.5
治安がよくない	8	3.6	11	1.4	8	4.9	—	0.0
通いたい、または子どもを通わせたい学校がない	11	1.3	11	1.4	12	0.7	4	12.5
家賃が高い	11	1.3	8	4.1	15	0.0	—	0.0
家までの進入路が狭いなど、住環境がよくない	11	1.3	11	1.4	11	1.4	—	0.0
災害が心配	11	1.3	9	2.7	12	0.7	—	0.0
保育所の整備が十分でない	15	0.4	15	0.0	12	0.7	—	0.0
その他	—	8.5	—	11.0	—	7.7	—	0.0

《参考》 図表 1-9 市外に転居したい理由（居住開始時期別）

※回答数が少ない区分が含まれるため、参考扱い



※生まれ育ったまちとして本市を認識すると思われる小学生以前からの居住者と、その他の居住者で区分

項目	全体 (n=223)		小学生以前 (n=174)		中学生以降、または就職・結婚を機になど (n=49)	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
通勤・通学に不便	1	49.8	1	54.6	1	32.7
魅力的な商業施設(ショッピングモールなど)がない	2	32.7	2	35.1	2	24.5
これまでと違う環境で暮らしてみたい	3	23.8	3	23.6	2	24.5
市内に働く場所が少ない	4	16.1	4	18.4	6	8.2
市全体が衰退しているイメージがある	5	12.6	5	13.8	6	8.2
街なかのにぎわいがない	6	7.2	6	8.6	12	2.0
買い物などの日常生活に不便	7	5.4	7	5.2	8	6.1
親・親族の近くに住みたい	8	3.6	14	0.0	4	16.3
子育てに関する助成が十分でない	8	3.6	8	4.0	12	2.0
治安がよくない	8	3.6	9	1.7	5	10.2
通いたい、または子どもを通わせたい学校がない	11	1.3	11	0.6	10	4.1
家賃が高い	11	1.3	14	0.0	8	6.1
家までの進上路が狭いなど、住環境がよくない	11	1.3	11	0.6	10	4.1
災害が心配	11	1.3	10	1.1	12	2.0
保育所の整備が十分でない	15	0.4	11	0.6	15	0.0
その他	—	8.5	—	7.5	—	12.2

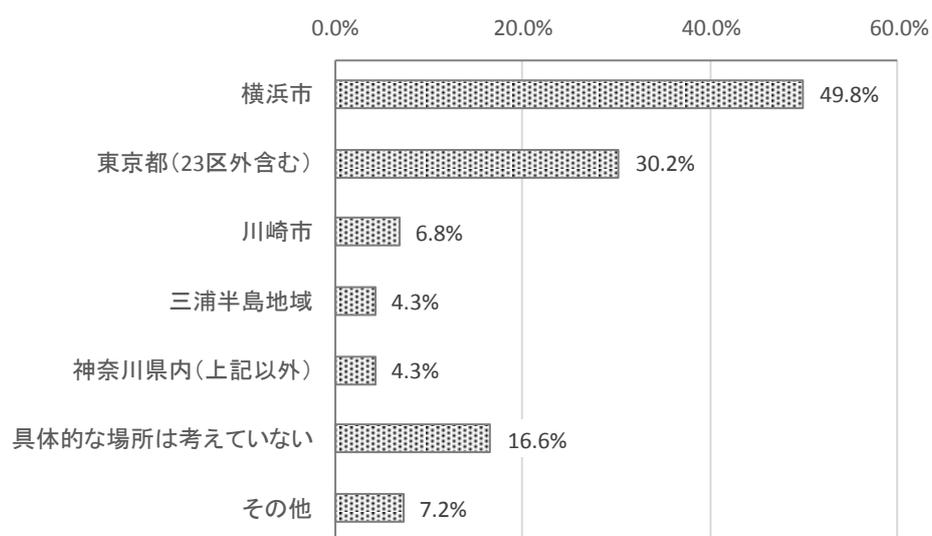
② 転居したい場所

問4 たとえば、どこに転居したいですか。

【問2で「市外に転居したい」を選んだ人のみ】

- ・ 「横浜市」(49.8%)、「東京都(23区外含む)」(30.2%)の順に多く挙げられた。また、「具体的な場所は考えていない」との回答が2割近く(16.6%)挙げられている。

図表 1-10 転居したい場所 (n=235)



*「その他」の主な内容:「埼玉県内」「千葉県内」など

※回答は複数記入可としたため、割合の合計は100%にはならない

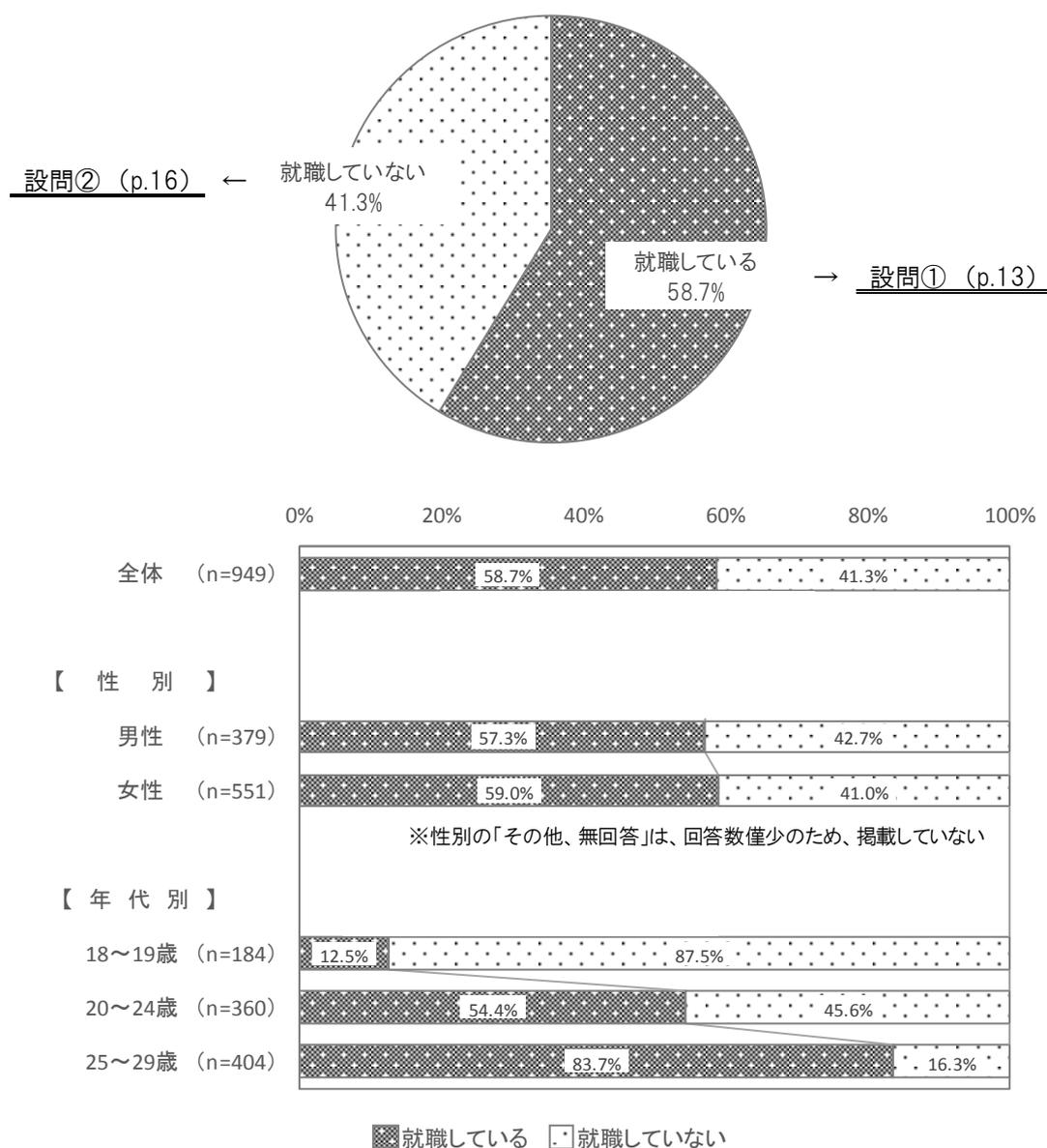
2 就業意識について

(1) 就職状況

問5 あなたは、現在就職していますか。(○は1つ)

- ・ 回答者の約6割が、「就職している」と回答(58.7%)。男女ともにほぼ同じ割合である。
- ・ 今回は若い世代を対象とした調査であり、調査対象者に学生などが多く含まれている影響で、回答者のうち「就職していない」人の割合が約4割となった(41.3%)。年代別で見ると、25～29歳の約8割が就職している。

図表 2-1 就職状況 (n=949)



① (1) で「就職している」を選択した人に対する設問

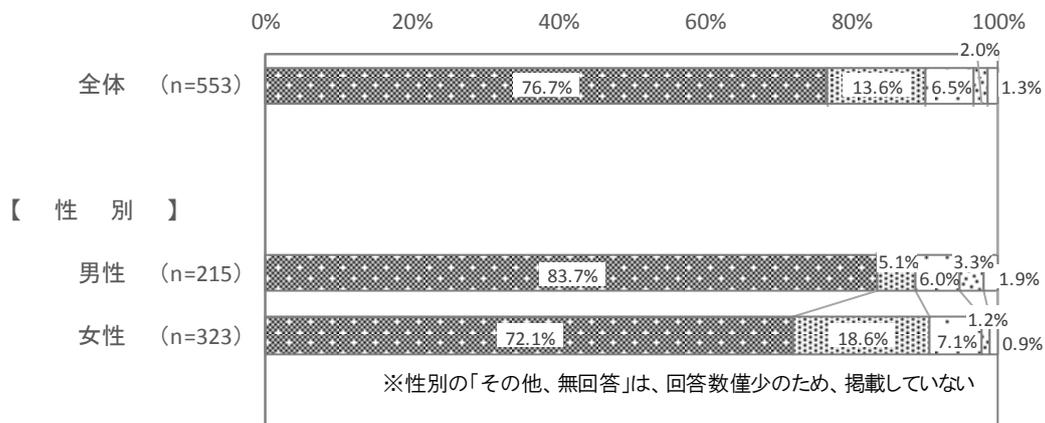
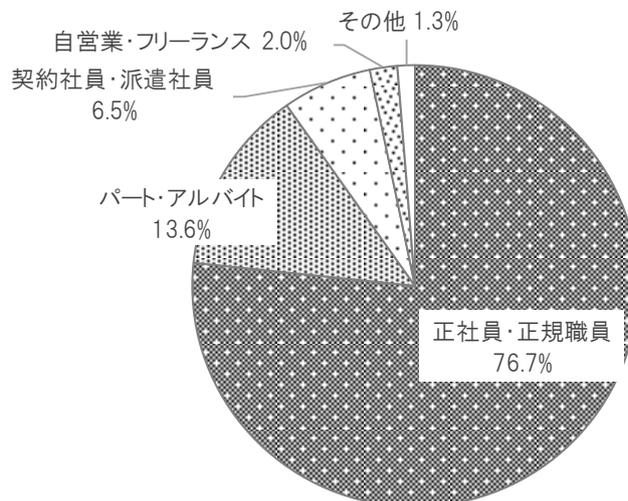
① - 1 就業形態

問6 あなたの就業形態はどれですか。(○は1つ)

【問5で「就職している」を選んだ人のみ】

- ・ 回答者の約8割が、「正社員・正規職員」(76.7%)で最も多く、次いで「パート・アルバイト」(13.6%)、「契約社員・派遣社員」(6.5%)の順に多く選択された。
- ・ 就職状況について男女での違いはほとんどないが、女性は男性に比べて「正社員・正規職員」の割合が低く、「パート・アルバイト」の割合が高い。

図表 2-2 就業形態 (n=553)



■正社員・正規職員 ■パート・アルバイト □契約社員・派遣社員
 ▨自営業・フリーランス □その他

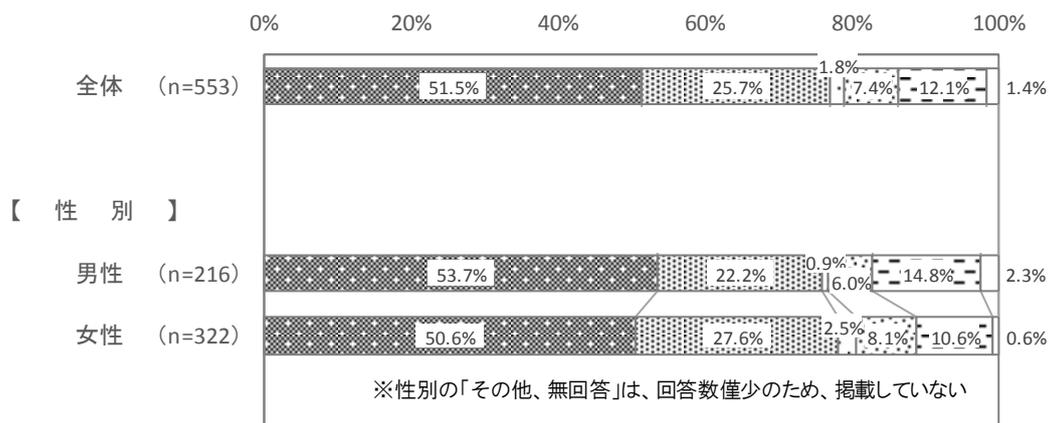
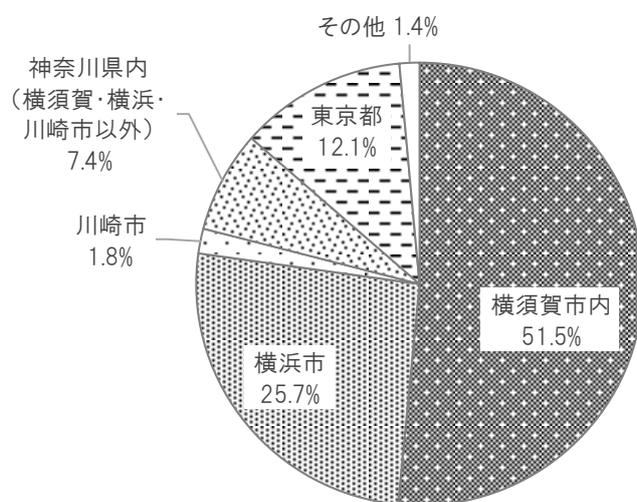
① - 2 就職先の地域

問7 あなたの就職先はどこですか。(○は1つ)

【問5で「就職している」を選んだ人のみ】

- ・ 回答者の約半数が、「横須賀市内」(51.5%)を選択。次いで「横浜市」(25.7%)、「東京都」(12.1%)、「神奈川県内(横須賀・横浜・川崎市以外)」(7.4%)の順に多く選択された。

図表 2-3 就職先の地域 (n=553)



■ 横須賀市内 ■ 横浜市 □ 川崎市 ▨ 神奈川県内 ▩ 東京都 □ その他

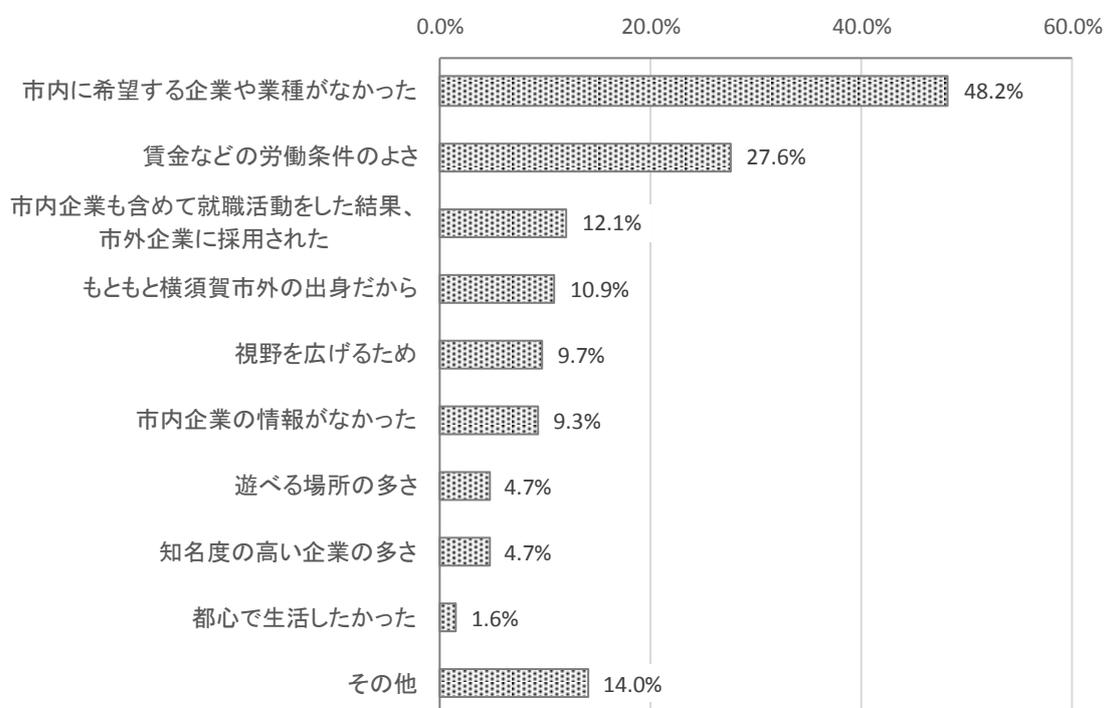
① - 3 就職先に横須賀市外を選んだ理由

問8 就職先に横須賀市外を選んだ理由は何ですか。(○は2つまで)

【問5で「就職している」を選んだ人のみ】

- ・ 「市内に希望する企業や業種がなかった」の回答が最も多く(48.2%)、次いで「賃金などの労働条件のよさ」(27.6%)が多く選択された。
- ・ なお、「その他」の具体的な理由としては、「配属先が市外だった」、「市外の学校・実習先に通っていたため」などが挙げられた。

図表 2-4 就職先に横須賀市外を選んだ理由 (n=257)



*「その他」の主な内容:「配属先が市外だった」、
「市外の学校・実習先に通っていたため」など

※回答は2つまでの複数選択のため、割合の合計は100%にはならない

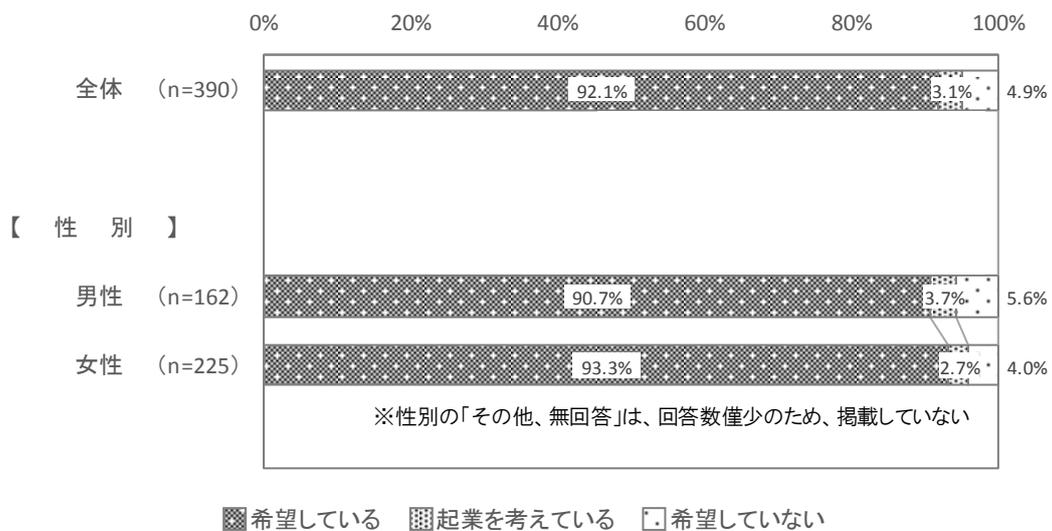
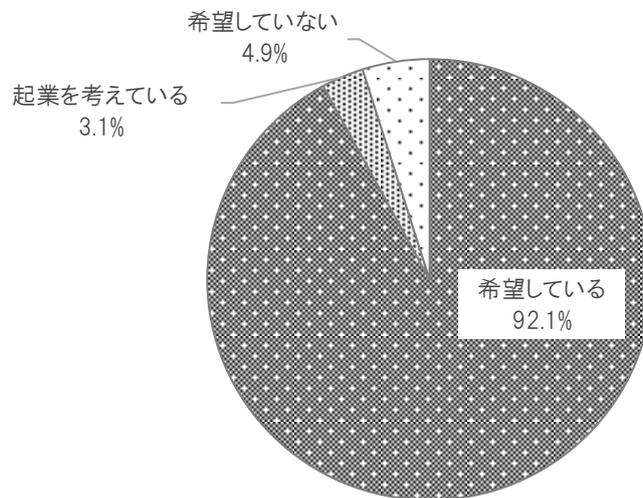
② (1) で「就職していない」を選択した人に対する設問

② - 1 就職希望の有無

問9 あなたは、現在または将来的に、就職を希望していますか。(○は1つ)
【問5で「就職していない」を選んだ人のみ】

- ・ 就職していない人のうち、約9割が就職を希望している (92.1%)。
- ・ 性別でも概ね同じ傾向であり、男女ともに就業意欲の高さがうかがえる。

図表 2-5 就職希望の有無 (n=390)



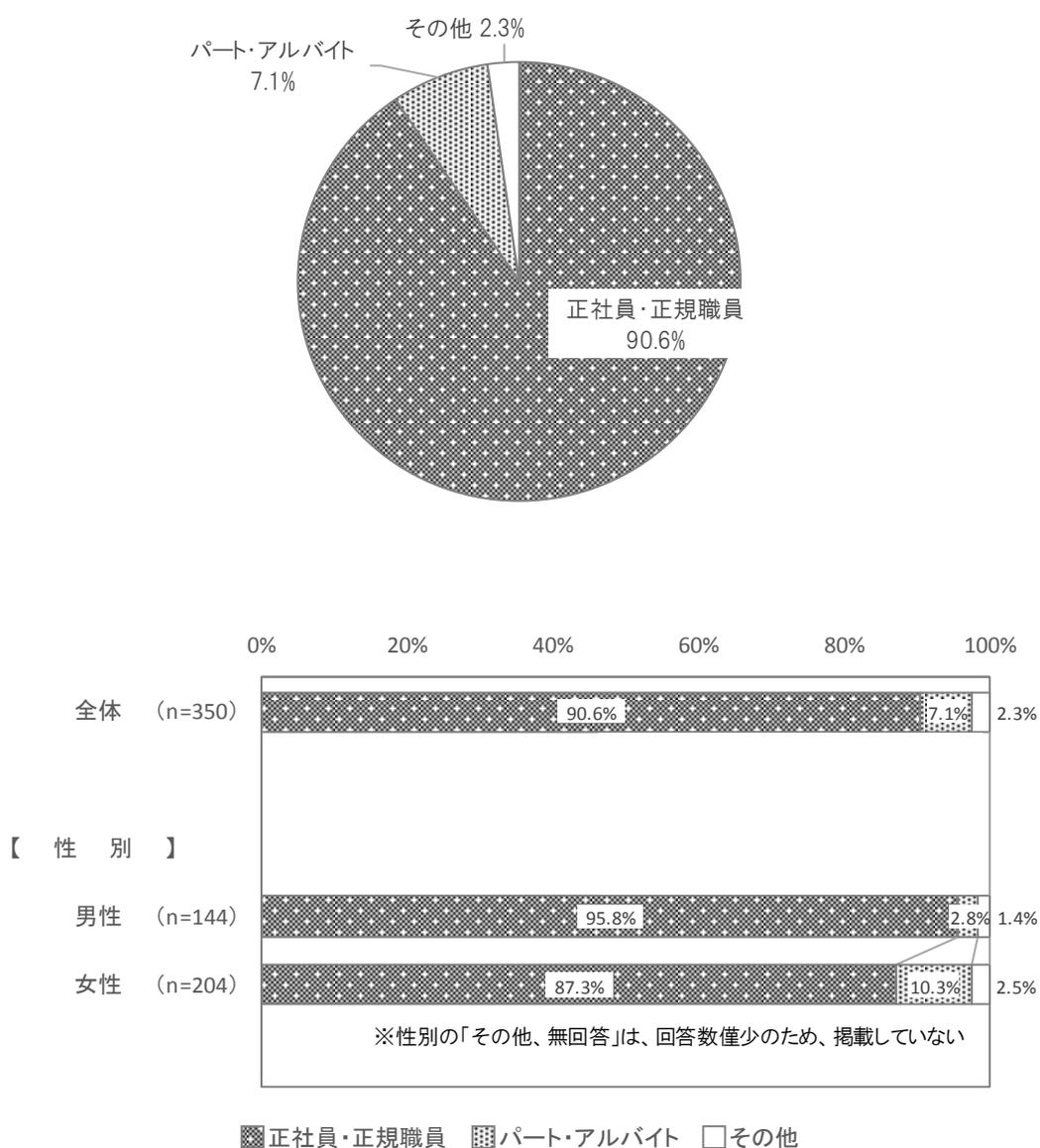
② - 2 希望する就業形態

問 10 あなたが希望する就業形態はどれですか。(○は1つ)

【問5で「就職していない」、問9で「(就職を)希望している」を選んだ人のみ】

- ・ 回答者の約9割が、「正社員・正規職員」を希望している(90.6%)。
- ・ 就業意欲に男女差はないものの、女性は男性に比べて「正社員・正規職員」を希望する割合がやや低く、「パート・アルバイト」を希望する割合がやや高い。

図表 2-6 希望する就業形態 (n=350)



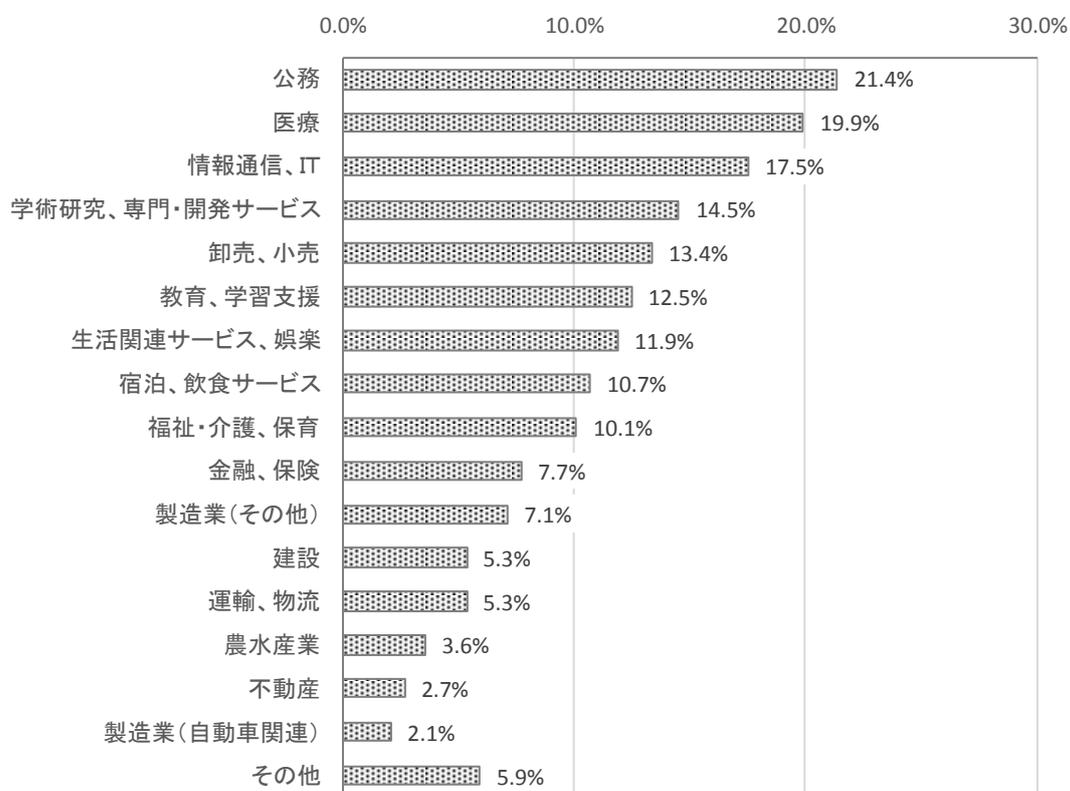
② - 3 希望する仕事内容

問 11 あなたが希望する仕事内容はどれですか。(○は3つまで)

【問5で「就職していない」、問9で「(就職を)希望している」を選んだ人のみ】

- ・ 「公務」(21.4%)、「医療」(19.9%)、「情報通信、IT」(17.5%)の順に多く選択された。
- ・ 性別では、男性は「公務」、「情報通信、IT」の2つが突出して多い。
それに対して、女性は「医療」、「卸売、小売」が多く選択されており、男女で選択の傾向に違いがある。

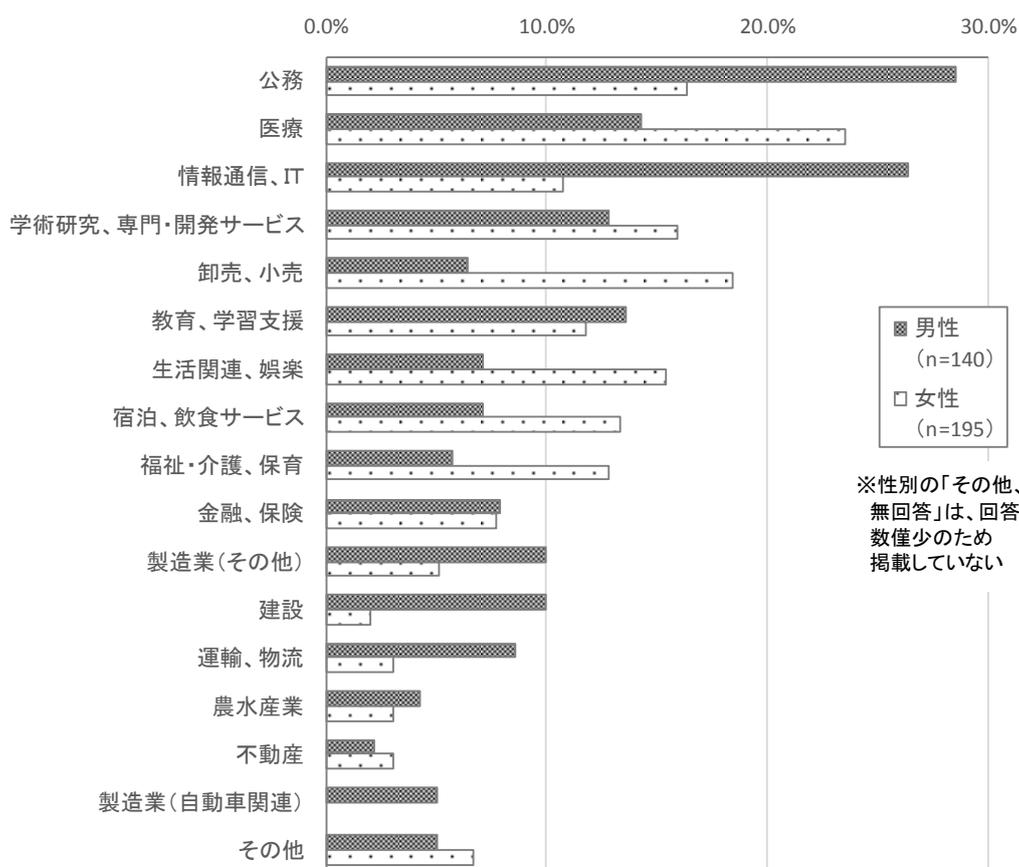
図表 2-7 希望する仕事内容 (n=337)



*「その他」の主な内容 : 「事務(業種問わず)」など

※回答は3つまでの複数選択のため、割合の合計は100%にはならない

図表 2-8 希望する仕事内容（性別）



※性別の「その他、無回答」は、回答数僅少のため掲載していない

項目	全体 (n=337)		男性 (n=140)		女性 (n=195)		その他、無回答 (n=2)	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
公務	1	21.4	1	28.6	3	16.4	—	0.0
医療	2	19.9	3	14.3	1	23.6	1	50.0
情報通信、IT	3	17.5	2	26.4	9	10.8	1	50.0
学術研究、専門・開発サービス	4	14.5	5	12.9	4	15.9	—	0.0
卸売、小売	5	13.4	12	6.4	2	18.5	—	0.0
教育、学習支援	6	12.5	4	13.6	8	11.8	—	0.0
生活関連サービス、娯楽	7	11.9	10	7.1	5	15.4	—	0.0
宿泊、飲食サービス	8	10.7	10	7.1	6	13.3	—	0.0
福祉・介護、保育	9	10.1	13	5.7	7	12.8	1	50.0
金融、保険	10	7.7	9	7.9	10	7.7	—	0.0
製造業(その他)	11	7.1	6	10.0	11	5.1	—	0.0
建設	12	5.3	6	10.0	15	2.1	—	0.0
運輸、物流	12	5.3	8	8.6	12	3.1	—	0.0
農水産業	14	3.6	15	4.3	12	3.1	—	0.0
不動産	15	2.7	16	2.1	12	3.1	—	0.0
製造業(自動車関連)	16	2.1	14	5.0	16	0.0	—	0.0
その他	—	5.9	—	5.0	—	6.7	—	0.0

※性別の「その他、無回答」は、回答数が少ないため、参考値

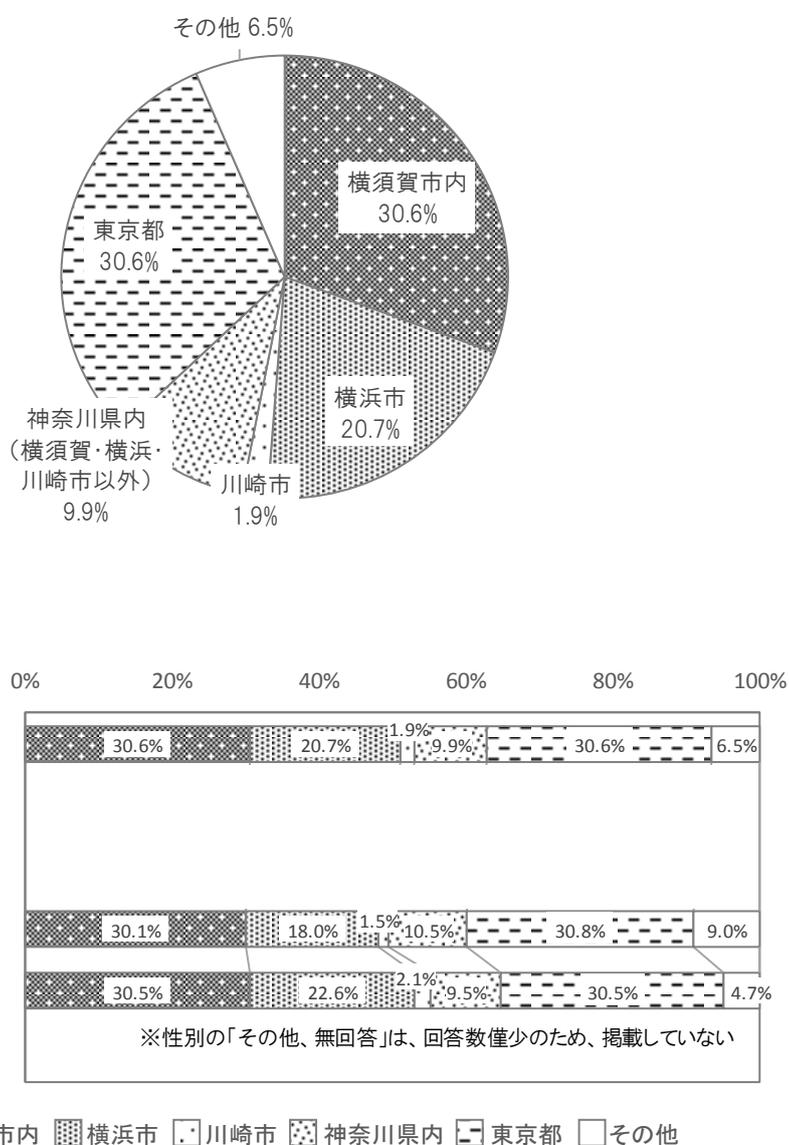
② - 4 就職・起業したい地域

問 12 あなたが就職・起業したいと思う地域はどこですか。(○は1つ)

【問5で「就職していない」、問9で「(就職を)希望している」を選んだ人のみ】

- ・ 「横須賀市内」と「東京都」がともに回答者の約3割(30.6%)、「横浜市」が回答者の約2割(20.7%)に選択された。
- ・ これは、男女ともに概ね同じ傾向である。

図表 2-9 就職・起業したい地域 (n=324)

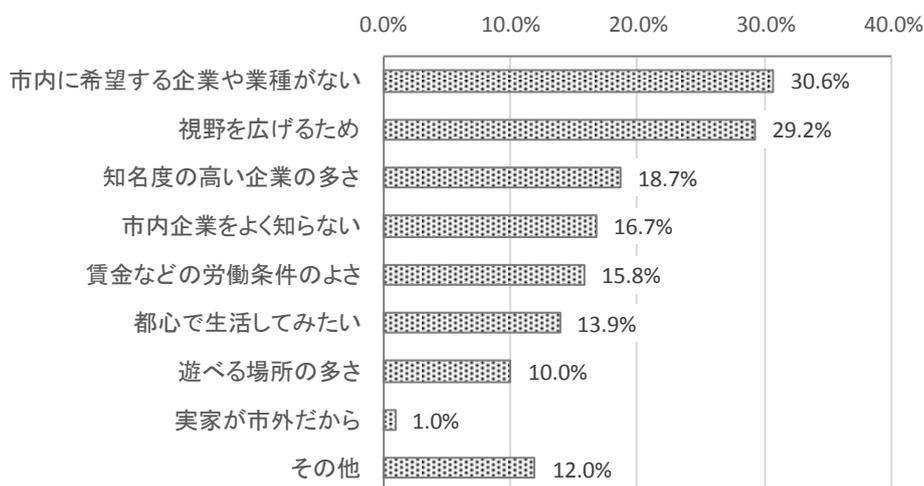


② - 5 横須賀市外で就職したい理由

問 13 横須賀市外で就職・起業したいと思う理由は何ですか。(○は2つまで)
 【問5で「就職していない」、問9で「(就職を)希望している」、
 問12で「横須賀市内」以外を選んだ人のみ】

- ・ 「市内に希望する企業や業種がない」(30.6%)、「視野を広げるため」(29.2%)の2つが特に多く選択された。
- ・ 次いで、「知名度の高い企業の多さ」(18.7%)、「市内企業をよく知らない」(16.7%)の順に多く選択された。
- ・ なお、「その他」の具体的な理由としては、「会社の選択肢が多い」、「通っている大学の近くに就職したい」などが挙げられた。

図表 2-10 横須賀市外で就職したい理由 (n=209)



*「その他」の主な内容:「会社の選択肢が多い」
 「通っている大学の近くに就職したい」など

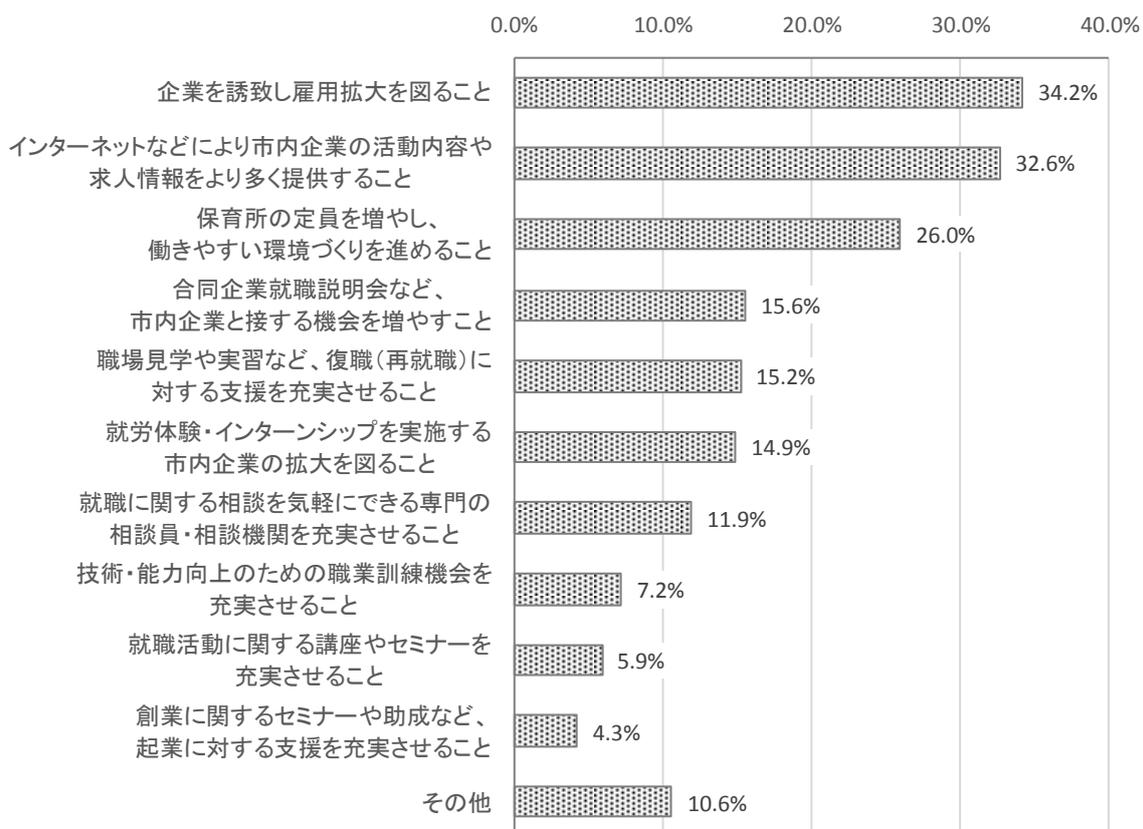
※回答は2つまでの複数選択のため、割合の合計は100%にはならない

(2) 市内就業者を増やすために有効だと思う取り組み

問 14 市内で働く若い人を増やすために、あなたが有効だと考える取り組みはどれですか。
(○は2つまで)

- ・ 「企業を誘致し雇用拡大を図ること」(34.2%)、「インターネットなどにより市内企業の活動内容や求人情報をより多く提供すること」(32.6%)、「保育所の定員を増やし、働きやすい環境づくりを進めること」(26.0%)の順に多く選択された。
- ・ 「企業を誘致し雇用拡大を図ること」は、男性から多く選択された。
- ・ 「保育所の定員を増やし、働きやすい環境づくりを進めること」は、性別では女性から、年代別では25～29歳から多く選択された。
- ・ 「就労体験・インターンシップを実施する市内企業の拡大を図ること」は、年代別では18～19歳・20～24歳から、就業状況別では未就業者から比較的多く選択された。
- ・ なお、「その他」の具体的な理由としては、「賃金を上げる」、「働きやすい労働環境作りに取り組む」などが多く挙げられた。

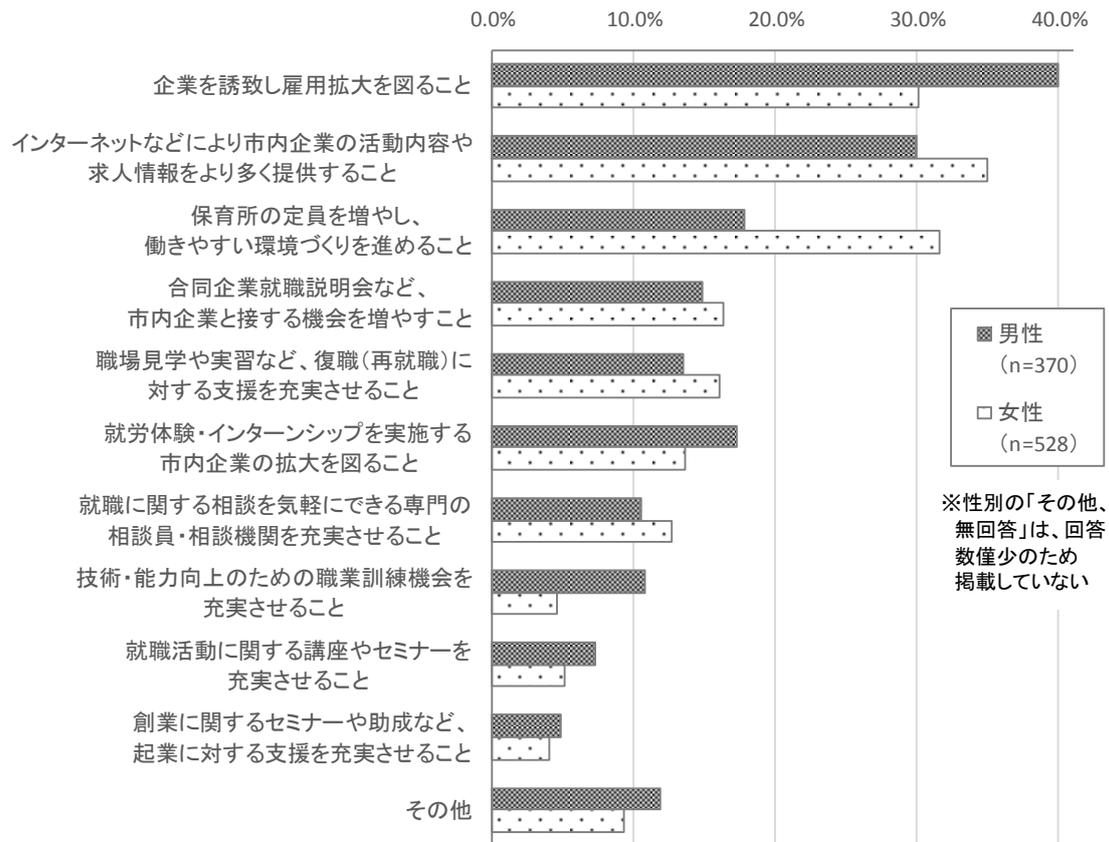
図表 2-11 市内就業者を増やすために有効だと思う取り組み (n=913)



*「その他」の主な内容:「賃金を上げる」
「働きやすい労働環境作りに取り組む」など

※回答は2つまでの複数選択のため、割合の合計は100%にはならない

図表 2-12 市内就業者を増やすために有効だと思う取り組み（性別）

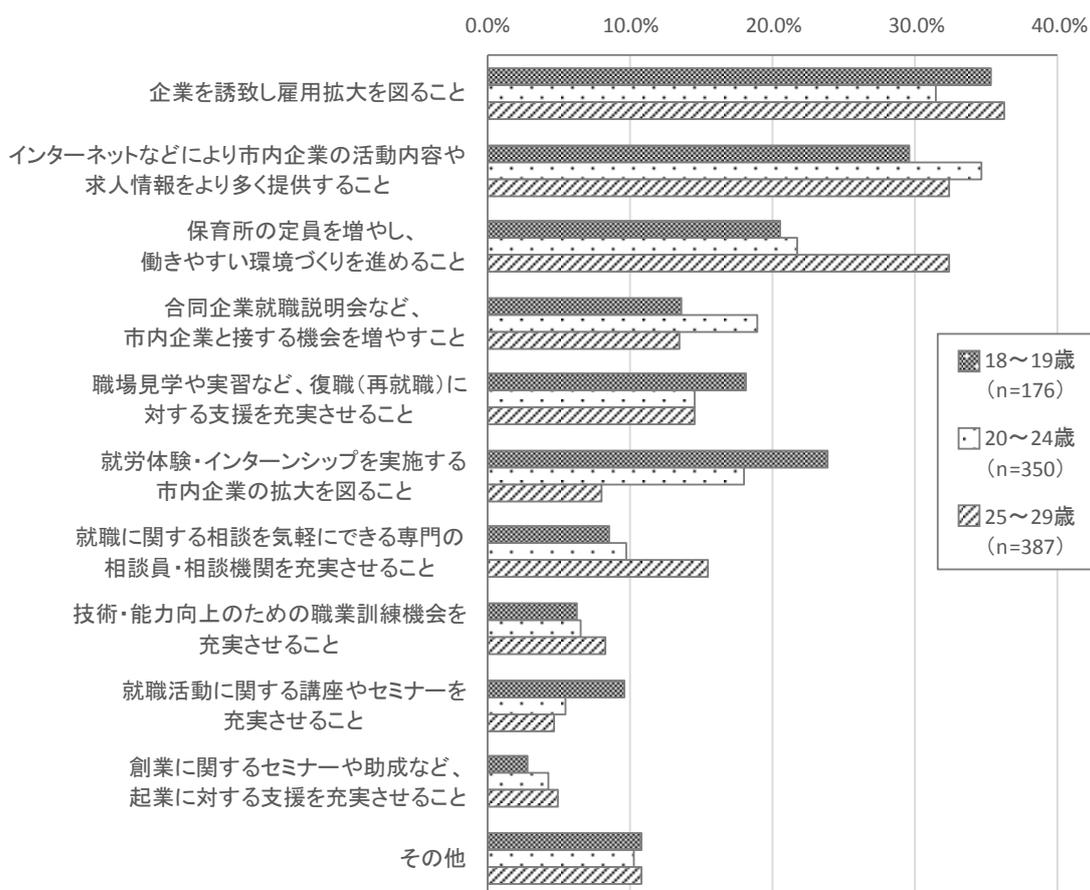


※性別の「その他、無回答」は、回答数僅少のため掲載していない

項目	全体 (n=913)		男性 (n=370)		女性 (n=528)		その他、無回答 (n=15)	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
企業を誘致し雇用拡大を図ること	1	34.2	1	40.0	3	30.1	1	33.3
インターネットなどにより市内企業の活動内容や求人情報をより多く提供すること	2	32.6	2	30.0	1	35.0	5	13.3
保育所の定員を増やし、働きやすい環境づくりを進めること	3	26.0	3	17.8	2	31.6	2	26.7
合同企業就職説明会など、市内企業と接する機会を増やすこと	4	15.6	5	14.9	4	16.3	7	6.7
職場見学や実習など、復職(再就職)に対する支援を充実させること	5	15.2	6	13.5	5	16.1	2	26.7
就労体験・インターンシップを実施する市内企業の拡大を図ること	6	14.9	4	17.3	6	13.6	—	0.0
就職に関する相談を気軽にできる専門の相談員・相談機関を充実させること	7	11.9	8	10.5	7	12.7	4	20.0
技術・能力向上のための職業訓練機会を充実させること	8	7.2	7	10.8	9	4.5	5	13.3
就職活動に関する講座やセミナーを充実させること	9	5.9	9	7.3	8	5.1	—	0.0
創業に関するセミナーや助成など、起業に対する支援を充実させること	10	4.3	10	4.9	10	4.0	—	0.0
その他	—	10.6	—	11.9	—	9.3	—	26.7

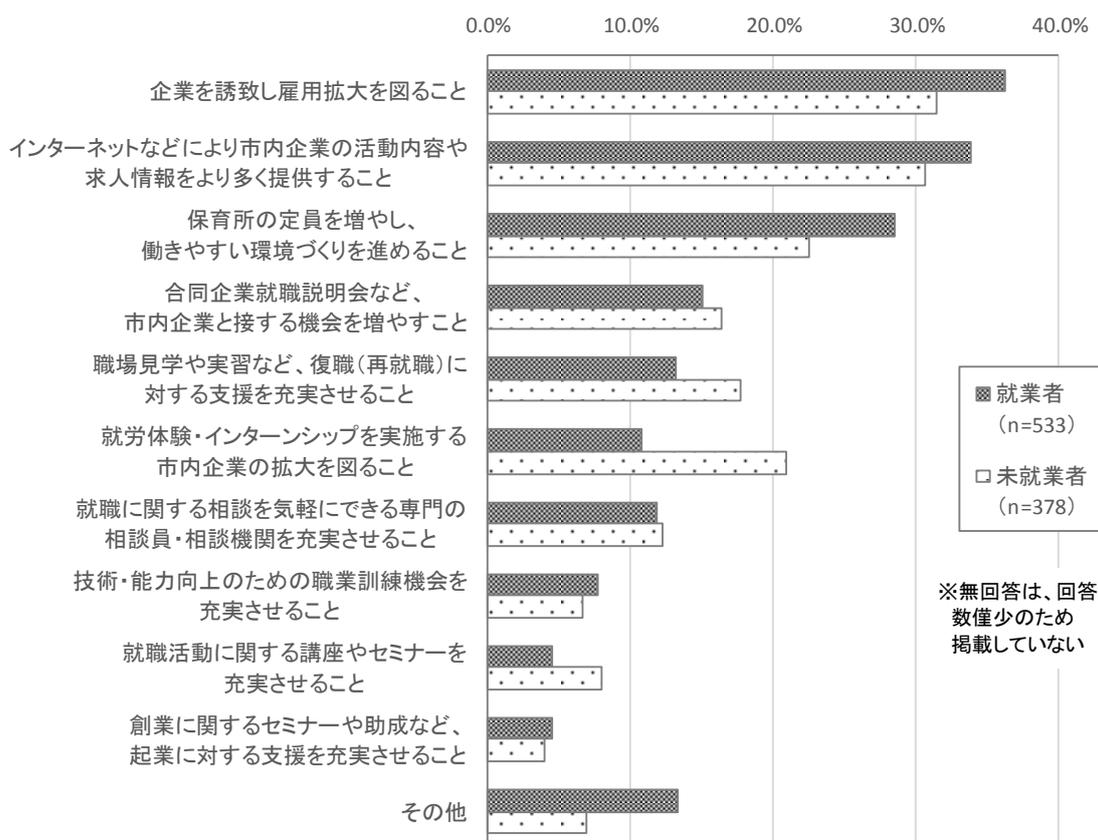
※性別の「その他、無回答」は、回答数が少ないため、参考値

図表 2-13 市内就業者を増やすために有効だと思う取り組み（年代別）



項目	全体 (n=913)		18～19歳 (n=176)		20～24歳 (n=350)		25～29歳 (n=387)	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
企業を誘致し雇用拡大を図ること	1	34.2	1	35.2	2	31.4	1	36.2
インターネットなどにより市内企業の活動内容や求人情報をより多く提供すること	2	32.6	2	29.5	1	34.6	2	32.3
保育所の定員を増やし、働きやすい環境づくりを進めること	3	26.0	4	20.5	3	21.7	2	32.3
合同企業就職説明会など、市内企業と接する機会を増やすこと	4	15.6	6	13.6	4	18.9	6	13.4
職場見学や実習など、復職(再就職)に対する支援を充実させること	5	15.2	5	18.2	6	14.6	5	14.5
就労体験・インターンシップを実施する市内企業の拡大を図ること	6	14.9	3	23.9	5	18.0	8	8.0
就職に関する相談を気軽にできる専門の相談員・相談機関を充実させること	7	11.9	8	8.5	7	9.7	4	15.5
技術・能力向上のための職業訓練機会を充実させること	8	7.2	9	6.3	8	6.6	7	8.3
就職活動に関する講座やセミナーを充実させること	9	5.9	7	9.7	9	5.4	10	4.7
創業に関するセミナーや助成など、起業に対する支援を充実させること	10	4.3	10	2.8	10	4.3	9	4.9
その他	—	10.6	—	10.8	—	10.3	—	10.9

図表 2-14 市内就業者を増やすために有効だと思う取り組み（就業状況別）



項目	全体 (n=913)		就業者 (n=533)		未就業者 (n=378)		無回答 (n=2)	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
企業を誘致し雇用拡大を図ること	1	34.2	1	36.2	1	31.5	—	0.0
インターネットなどにより市内企業の活動内容や求人情報をより多く提供すること	2	32.6	2	33.8	2	30.7	1	100.0
保育所の定員を増やし、働きやすい環境づくりを進めること	3	26.0	3	28.5	3	22.5	—	0.0
合同企業就職説明会など、市内企業と接する機会を増やすこと	4	15.6	4	15.0	6	16.4	—	0.0
職場見学や実習など、復職(再就職)に対する支援を充実させること	5	15.2	5	13.1	5	17.7	1	100.0
就労体験・インターンシップを実施する市内企業の拡大を図ること	6	14.9	7	10.7	4	20.9	—	0.0
就職に関する相談を気軽にできる専門の相談員・相談機関を充実させること	7	11.9	6	11.8	7	12.2	—	0.0
技術・能力向上のための職業訓練機会を充実させること	8	7.2	8	7.7	9	6.6	—	0.0
就職活動に関する講座やセミナーを充実させること	9	5.9	9	4.5	8	7.9	—	0.0
創業に関するセミナーや助成など、起業に対する支援を充実させること	10	4.3	9	4.5	10	4.0	—	0.0
その他	—	10.6	—	13.3	—	6.9	—	0.0

※就業状況の「無回答」は、回答数が少ないため、参考値

3 買い物環境について

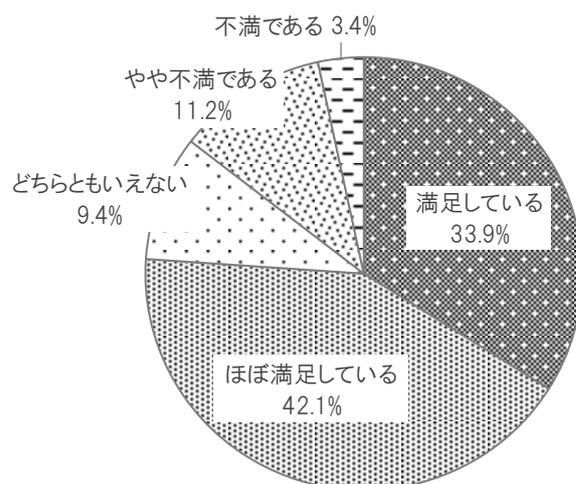
(1) 日用品※の買い物環境に対する満足度

※日用品：食料品や家庭用品など

問 15-1 あなたは、市内における日用品の買い物環境に満足していますか。(○は1つ)

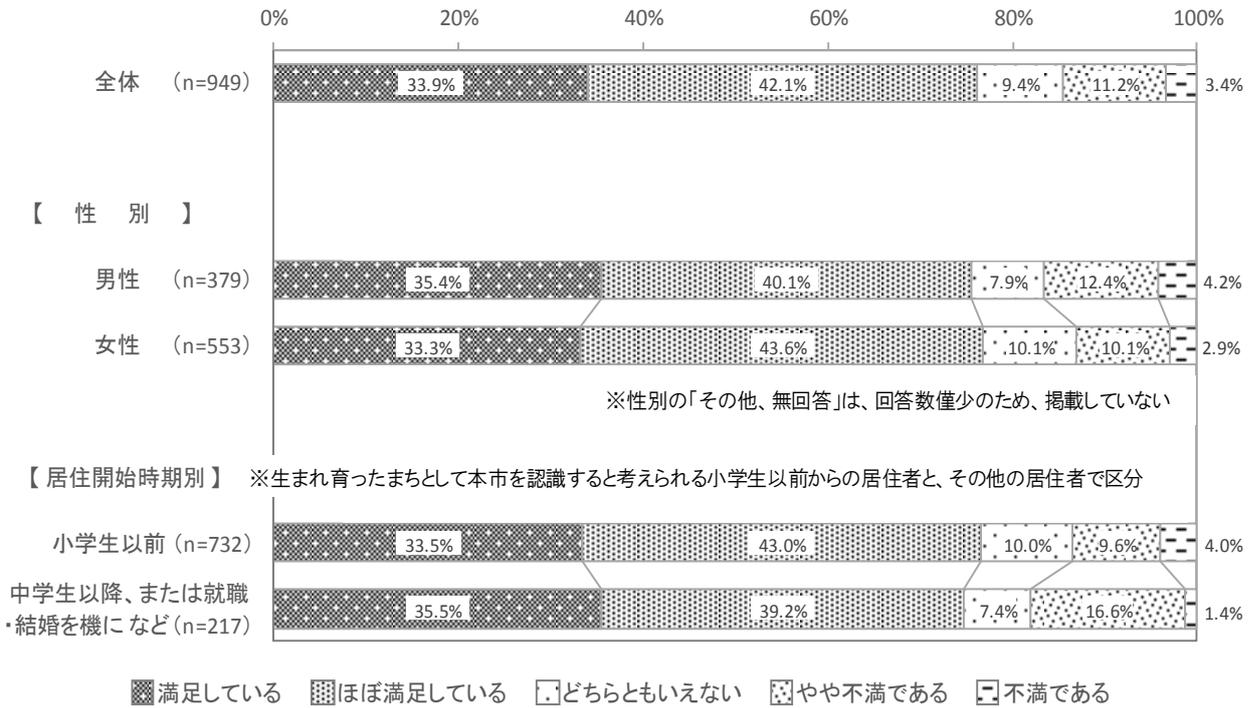
- ・ 回答者の8割近くが、食料品や家庭用品などの日用品の買い物環境に満足していると回答（「満足している」(33.9%)、「ほぼ満足している」(42.1%)の合算）。
- ・ 性別では回答傾向に大きな違いは見られないが、居住開始時期別では中学生以降または就職、結婚などを機に居住を始めた人の方が不満を感じる割合（「不満である」、「やや不満である」の合算）がやや高い。

図表 3-1 日用品の買い物環境に対する満足度 (n=949)



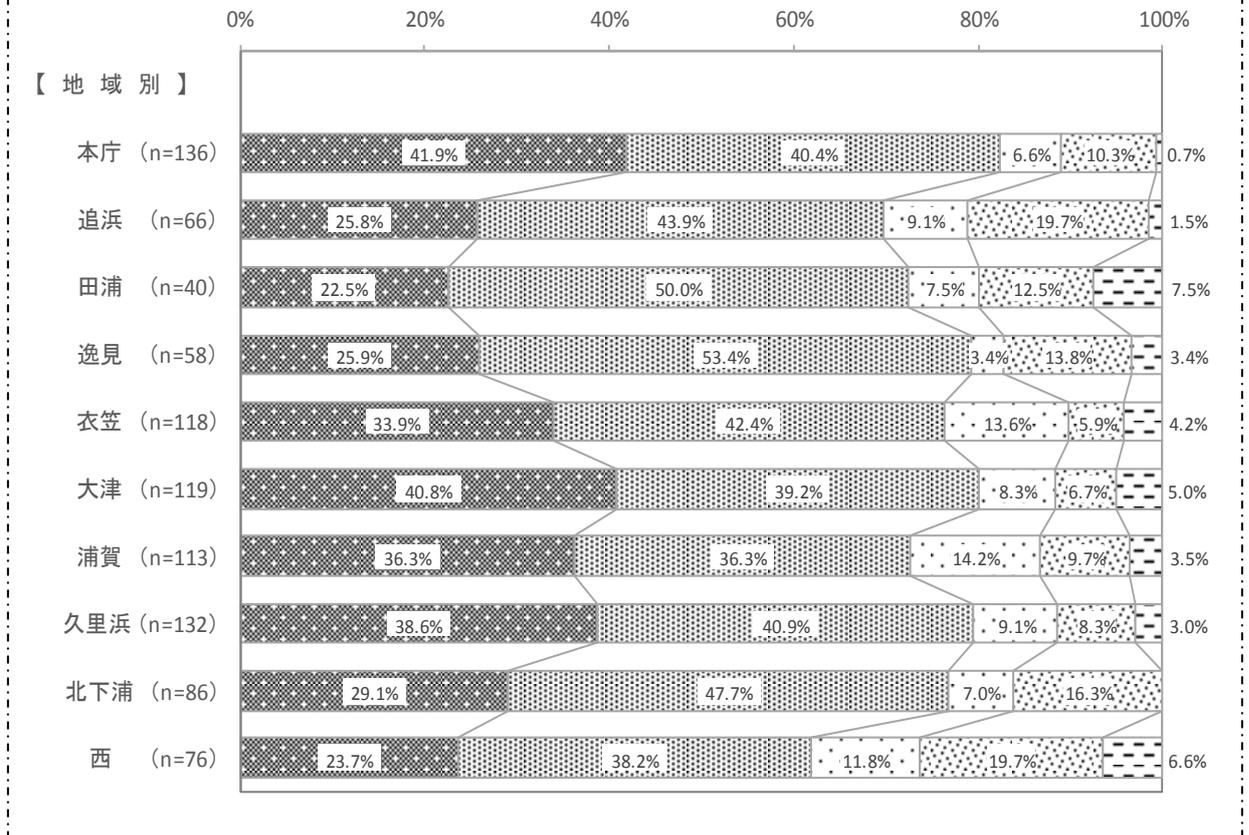
件数 (人)	満足度 (%)						
	満足 している (①)	ほぼ満足 している (②)	どちらとも いえない (③)	やや不満 である (④)	不満である (⑤)	①+②	④+⑤
949	33.9	42.1	9.4	11.2	3.4	76.0	14.6

図表 3-2 日用品の買い物環境に対する満足度（性別、居住開始時期別）



《参考》 図表 3-3 日用品の買い物環境に対する満足度（地域別）

※回答数が少ない地域が含まれるため、参考扱い



① (1)で「不満である」「やや不満である」を選択した人に対する設問

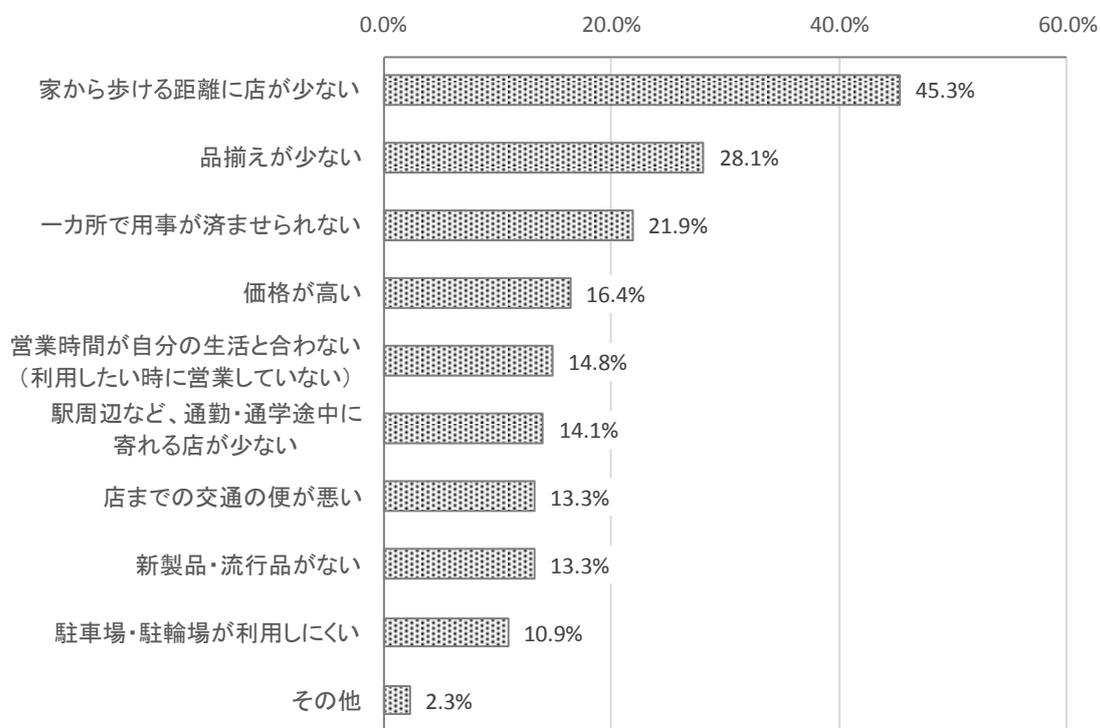
① 日用品の買い物環境に不便・不満を感じる理由

問 15-2 日用品の買い物環境に不便・不満を感じる理由は何ですか。(○は2つまで)

【問 15-1 で「不満である」「やや不満である」を選んだ人のみ】

- ・ 「家から歩ける距離に店が少ない」(45.3%)、「品揃えが少ない」(28.1%)、「一カ所で用事が済ませられない」(21.9%)の順に多く選択された。

図表 3-4 日用品の買い物環境に不便・不満を感じる理由 (n=128)



※回答は2つまでの複数選択のため、割合の合計は100%にはならない

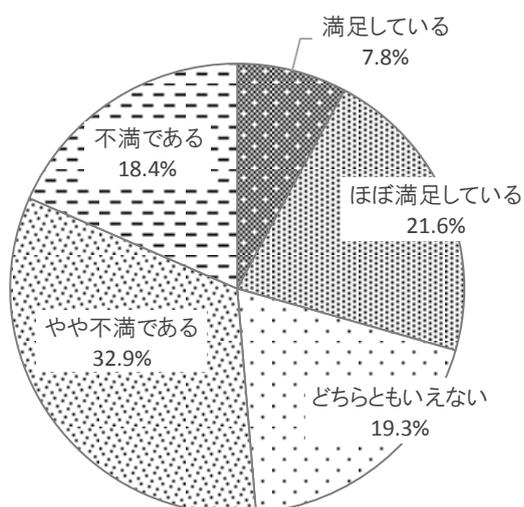
(2) 日用品以外の買回り品※の買い物環境に対する満足度

※買回り品：趣味やファッション、レジャー用品など

問 15-3 あなたは、市内における日用品以外の買回り品の買い物環境に満足していますか。
(○は1つ)

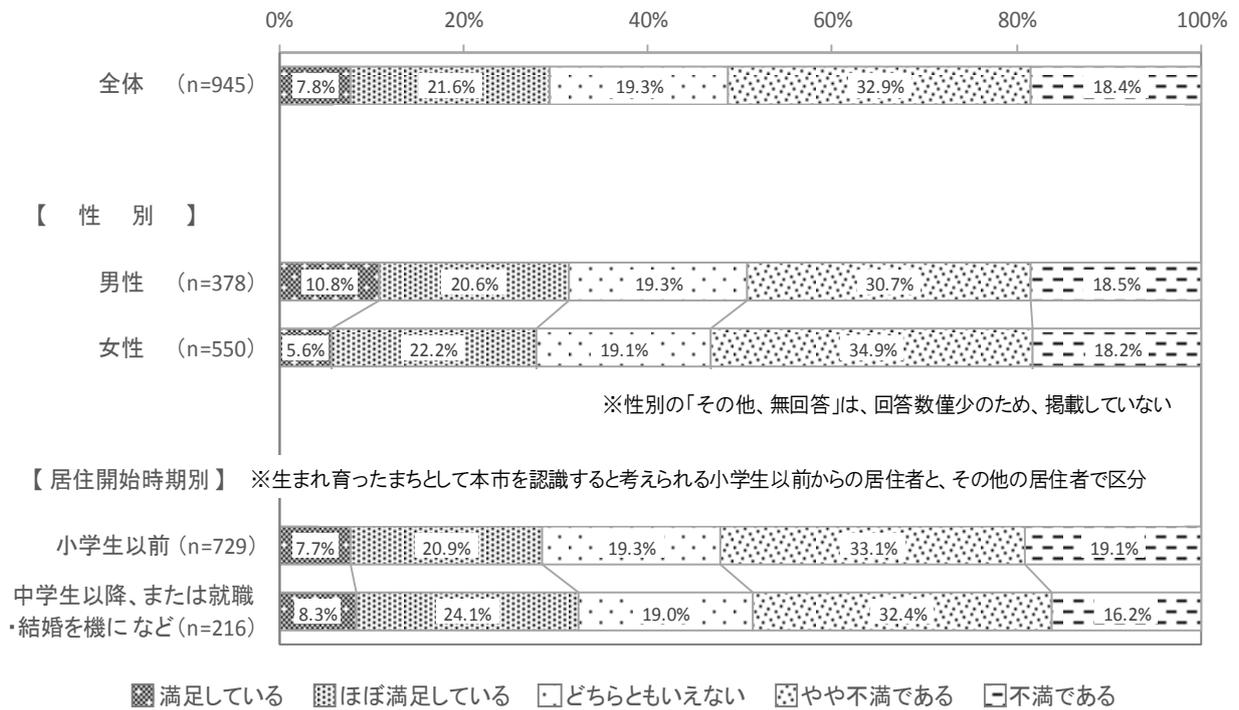
- ・ 趣味やファッション、レジャー用品などの、日用品以外の買回り品の買い物環境については、回答者の約5割が不便・不満を感じている（「不満である」(18.4%)、「やや不満である」(32.9%)の合算）。
- ・ 性別、居住開始時期別ともに、回答傾向に大きな違いは見られない。

図表 3-5 買回り品の買い物環境に対する満足度 (n=945)



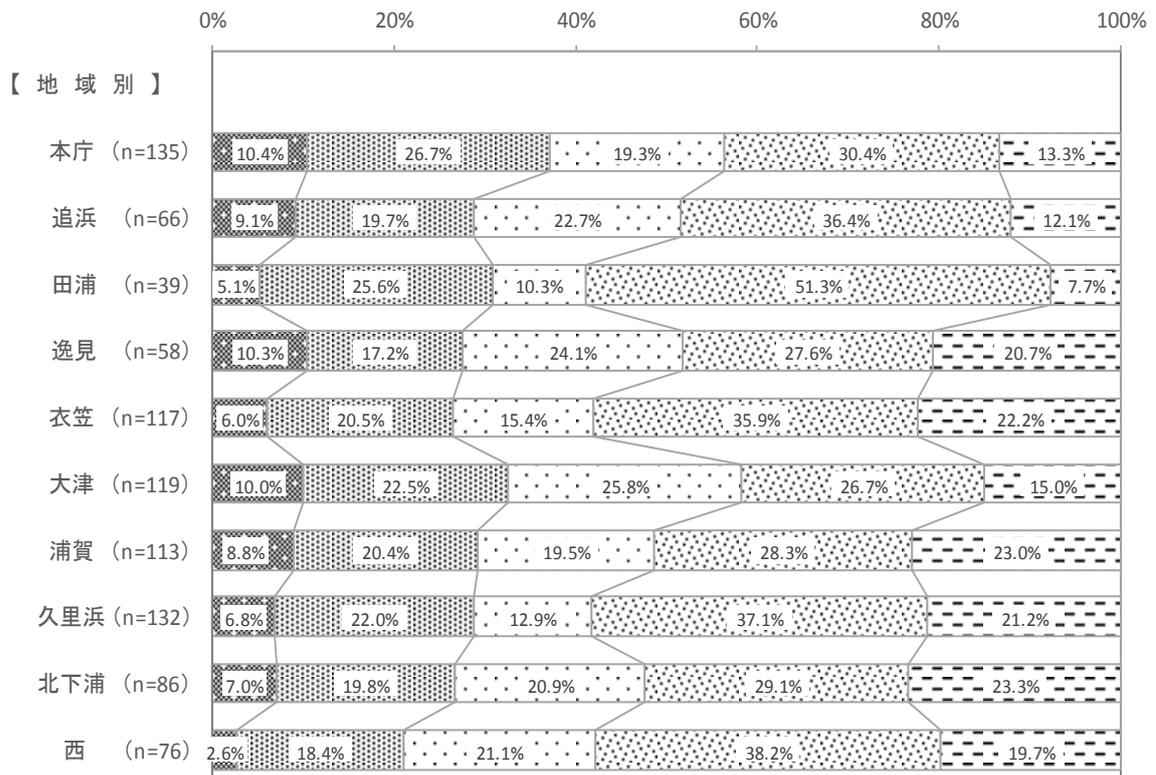
件数 (人)	満足度						合計 (%)	
	満足 している (①)	ほぼ満足 している (②)	どちらとも いえない (③)	やや不満 である (④)	不満である (⑤)	①+②	④+⑤	
945	7.8	21.6	19.3	32.9	18.4	29.4	51.3	

図表 3-6 買回り品の買い物環境に対する満足度（性別、居住開始時期別）



《参考》 図表 3-7 買回り品の買い物環境に対する満足度（地域別）

※回答数が少ない地域が含まれるため、参考扱い



② (2)で「不満である」「やや不満である」を選択した人に対する設問

② 買回り品の買い物環境に不便・不満を感じる理由

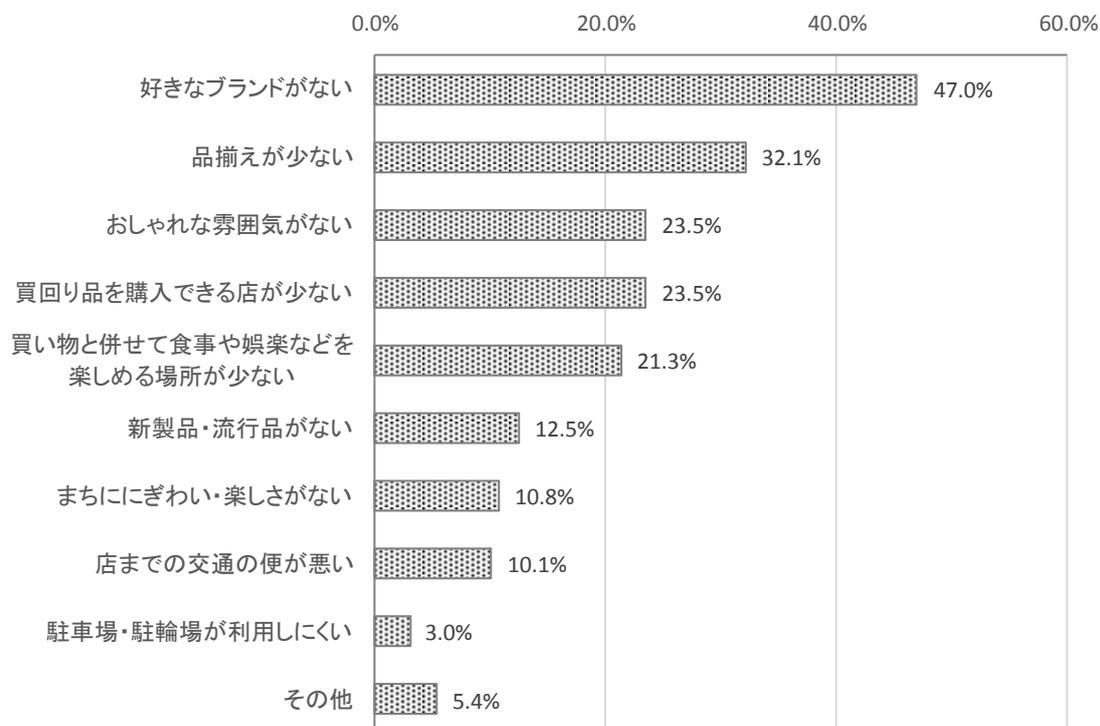
問 15-4 日用品以外の買回り品の買い物環境に不便・不満を感じる理由は何ですか。

(○は2つまで)

【問 15-3 で「不満である」「やや不満である」を選んだ人のみ】

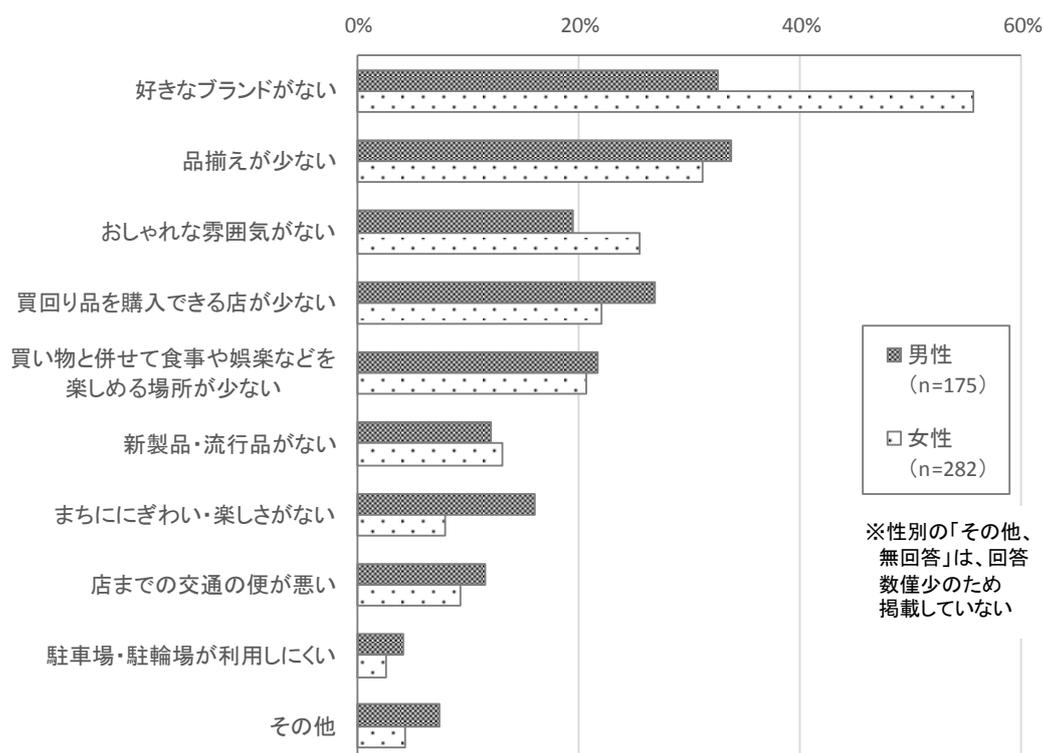
- ・ 「好きなブランドがない」(47.0%) が最も多く、次いで「品揃えが少ない」(32.1%)、「おしゃれな雰囲気がない」(23.5%)、「買回り品を購入できる店が少ない」(23.5%)、「買い物と併せて食事や娯楽などを楽しめる場所がない」(21.3%) の順に多く選択された。
- ・ 「好きなブランドがない」については、特に女性から多く選択された。

図表 3-8 買回り品の買い物環境に不便・不満を感じる理由 (n=464)



※回答は2つまでの複数選択のため、割合の合計は100%にはならない

図表 3-9 買回り品の買い物環境に不便・不満を感じる理由（性別）



項目	全体 (n=464)		男性 (n=175)		女性 (n=282)		その他、無回答 (n=7)	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
好きなブランドがない	1	47.0	2	32.6	1	55.7	1	57.1
品揃えが少ない	2	32.1	1	33.7	2	31.2	4	28.6
おしゃれな雰囲気がない	3	23.5	5	19.4	3	25.5	2	42.9
買回り品を購入できる店が少ない	3	23.5	3	26.9	4	22.0	6	0.0
買い物と併せて食事や娯楽などを楽しめる場所が少ない	5	21.3	4	21.7	5	20.6	2	42.9
新製品・流行品がない	6	12.5	7	12.0	6	13.1	6	0.0
まちなにぎわい・楽しさがない	7	10.8	6	16.0	8	7.8	6	0.0
店までの交通の便が悪い	8	10.1	8	11.4	7	9.2	5	14.3
駐車場・駐輪場が利用しにくい	9	3.0	9	4.0	9	2.5	6	0.0
その他	—	5.4	—	7.4	—	4.3	—	0.0

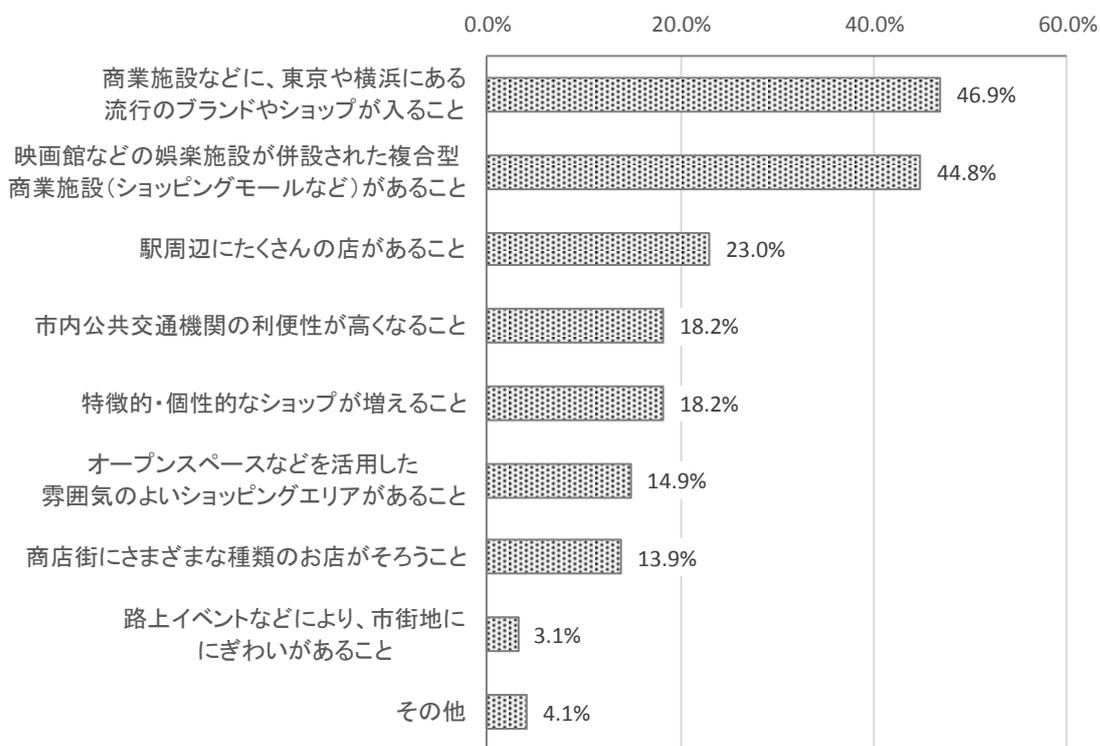
※性別の「その他、無回答」は、回答数が少ないため、参考値

(3) 市内で買い物をしたくなるために必要な環境

問 16 あなたが市内で買い物をしたくなるには、横須賀にどのような環境が必要ですか。
(○は2つまで)

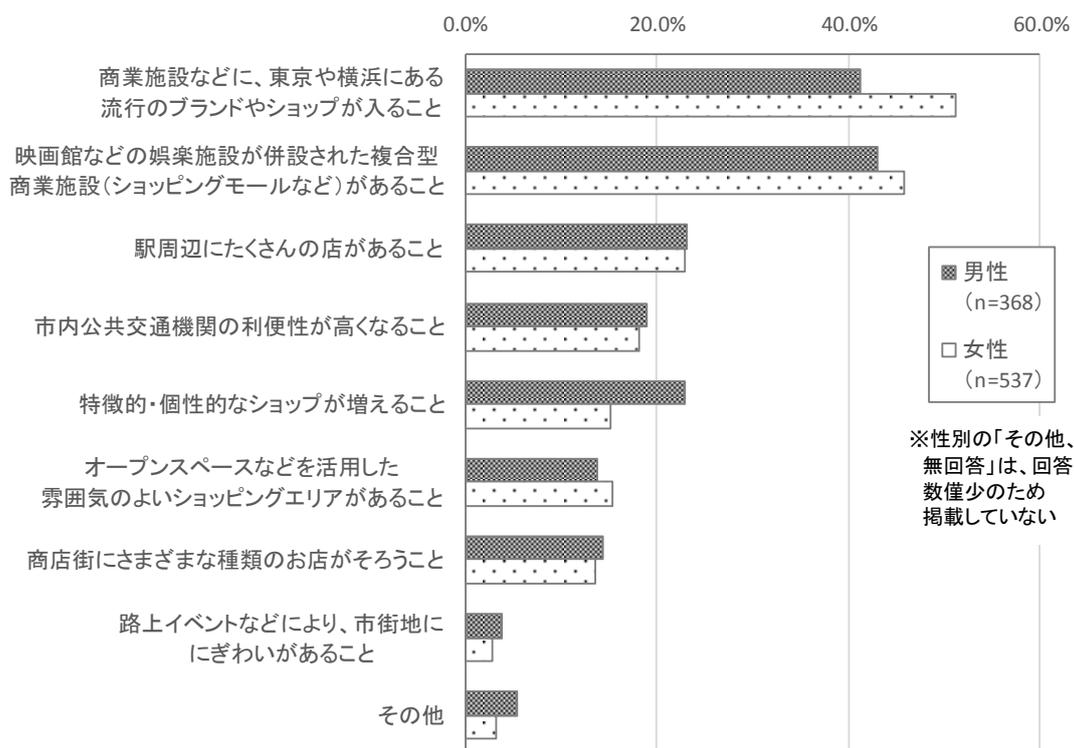
- ・ 「商業施設などに、東京や横浜にある流行のブランドやショップが入ること」(46.9%)、「映画館などの娯楽施設が併設された複合型商業施設(ショッピングモールなど)があること」(44.8%)の2つが突出して多く選択された。
- ・ 性別で見ると、「商業施設などに、東京や横浜にある流行のブランドやショップが入ること」は特に女性から、「特徴的・個性的なショップが増えること」は特に男性から多く選択されている。

図表 3-10 市内で買い物をしたくなるために必要な環境 (n=921)



※回答は2つまでの複数選択のため、割合の合計は100%にはならない

図表 3-11 市内で買い物をしたくなるために必要な環境（性別）



項目	全体 (n=921)		男性 (n=368)		女性 (n=537)		その他、無回答 (n=16)	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
商業施設などに、東京や横浜にある流行のブランドやショップが入ること	1	46.9	2	41.3	1	51.2	2	31.3
映画館などの娯楽施設が併設された複合型商業施設(ショッピングモールなど)があること	2	44.8	1	42.9	2	45.8	1	56.3
駅周辺にたくさんの店があること	3	23.0	3	23.1	3	22.9	3	25.0
市内公共交通機関の利便性が高くなること	4	18.2	5	19.0	4	18.1	7	6.3
特徴的・個性的なショップが増えること	4	18.2	4	22.8	6	15.1	5	18.8
オープンスペースなどを活用した雰囲気の良いショッピングエリアがあること	6	14.9	7	13.9	5	15.3	3	25.0
商店街にさまざまな種類のお店がそろふこと	7	13.9	6	14.4	7	13.6	6	12.5
路上イベントなどにより、市街地ににぎわいがあること	8	3.1	8	3.8	8	2.8	8	0.0
その他	—	4.1	—	5.4	—	3.2	—	6.3

※性別の「その他、無回答」は、回答数が少ないため、参考値

その他（ご意見・ご提案）

横須賀市の市政について、ご意見などがありましたら 自由にご記入ください。

《自由意見記入者》

245 人（回答者数 951 人の 25.8%）

《主な内容》

就労環境（p. 36）

給与水準をはじめとした市内企業の労働環境の向上や雇用拡大に関する意見など。

定住対策・買い物環境など（p. 36）

市内に遊んだりショッピングを楽しんだりできる場所が少ない、娯楽施設や子どもの遊び場が併設されたショッピングモールなどを誘致して街の魅力を高めるべき、との意見など。

観光・にぎわい（p. 42）

街に大きなにぎわいを生んだポケモン GO のイベント誘致に対する高い評価や、音楽やスポーツ、地域資源の有効活用に関する意見など。

子育て・教育（p. 44）

子どもの遊び場、特に小さな子どもが室内や公園で、楽しく安全に遊ぶことのできる環境を求める声や、保育所・学童保育等の充実に関する意見など。

まちづくり（p. 46）

路上喫煙対策などの街のイメージ向上に関する意見や、図書館や自習スペースの充実に関する意見など。

交通インフラの整備（p. 48）

西地区の交通利便性の悪さに関する意見など。

安全・安心（p. 50）

平成町に行政機関が集積していることに対する不安の声や、街灯の整備に関する意見など。

福祉・医療（p. 50）、市政全般（p. 51）

その他福祉・医療や市政全般に関する意見など。

《一覽》

就労環境

1. 市内企業の労働環境をチェックしてほしい(サービス残業や家に持ち帰ってから夜中までかかる仕事など)。
2. 最低賃金が低く市内で希望する職種がないため、市外に就職する人が多い。
3. 市内では仕事も少ないし賃金が低すぎる。そもそも働くことが難しい。
4. 横須賀市から人口が減らないように、給与や労働条件の向上・維持など、各企業にまんべんなく働き手が増えるよう、なんらかの対策を行ってほしい。
5. 横浜市等と比べて、給料が低い、大手の会社が少ないなど、横須賀市内によい雇用形態だと思う所が少ないと思う。
6. 最近転職活動をしたが、市内で探すとかなり数が限られてしまうので、市外で就職し転居してしまう人が多いと思う。
7. 横須賀はよい場所なのでずっと住みたい。今は東京で働いているが、遠いので横須賀市内で働きたい。
8. 建築業に若い人材が入ってきてほしい。若い力が必要。
9. 職業訓練校を始めとした就労支援施設をもっと利用しやすくすれば、市内でも就職しやすくなると思う。
10. YRP など、市内への企業誘致に取り組んでほしい
11. 「ごきんじょぶよこすか」が使いにくい。福利厚生など詳細に検索できるとよい。また、検索結果と実際に表示される検索結果の件数が異なる時がある。画面下の Indeed は次のページに移らない時がある。
12. 地元で働く魅力を伝えて人口減少を止めたいという思いから、地元で働いている。
13. 市が若い母親に対して親切ではないと思う。もっと若い人材を活用できるような場をつくってほしい。

定住対策・買い物環境など

1. ららぽーとやイオンモール、アウトレットモールのような人の集まる施設を誘致しないと、横浜や東京、木更津まで買い物に行き続けると思う。
2. 複合型商業施設を取り入れれば、にぎわいができると思う。
3. 大手もしくは特徴のあるショッピングモールの誘致・維持がかかせない。有名ブランドが集まる定番のモールと、カレーや海産物などの横須賀の特産品を融合した、新しいショッピングモールをつくる必要があると思う。汐入のショッパーズなどでは、店のレパートリーや内装の古さなどの観点で、魅力に欠けてしまい、市外の人から、魅力的に映らない。
4. 地方にあるような大型のショッピングモールができれば人も集まるし買い物も楽しめる。

また、駐車場料金無料の場所が増えれば時間を気にせずゆっくりできる。

5. コストコやイケアといった単独の大型施設などを誘致してほしい。
6. 人口を増やすには、子育て環境の充実や企業誘致は必須だと思う。「にぎわい」は企業（工場）、住民が増えることが不可欠。軍港めぐりや猿島など横須賀独自の観光は魅力的だと思うが、市内で遊んだり、買い物したりできる商業施設が増えればさらに魅力的になると思う。
7. 娯楽施設が併設された複合型商業型施設が数少ないので、わざわざ横須賀に遊びに行こうとする人は少ないと思う。平成町のノジマモール建設の際には、娯楽施設という案もあったようだが、実現に至らず残念に思う。娯楽施設が増えれば、住みたいと思う人、遊びに行こうと思う人が増え、横須賀市のさらなる活性化につながると思うので、今後施設建設の機会があれば、ぜひ考えていただきたい。
8. もし複合型商業施設ができたとしたら、無料バスなどがあると利用しやすい。
9. 大型ショッピングモールをつくらしてほしい。
10. アウトレットパークやショッピングモールなどを横須賀につくらしてほしい。今の横須賀は寂れてつまらない街になっているため若い人達が離れていくのだと思う。もっと楽しい横須賀にしてほしい。
11. もっと商業施設を増やしてほしい。横須賀出身の友人の多くが東京や横浜に住んでいるが、横須賀に行く・住む魅力があまりないという人も結構いる。昔から住んでいる少し上の世代の方々も、今の横須賀にはあまり期待が少ないように思う。横須賀が好きなので頑張ってもらいたい。
12. 横須賀市は、全体的に飲食店などは多いが娯楽施設が少ない。ラウンドワンなどが新しくできるだけでも違うと思う。
13. 休みの日には、ショッピングのために横浜や千葉などまで行っているのだから、横須賀に大きな買い物スポットができると嬉しい。
14. 横須賀は本当に本当に住みやすく、これからも住み続けたいと思っているが、友人と会う時などは横浜へ行ってしまふ。横須賀には”現代的な”魅力的なショッピングモールや複合施設がなく、若者へのニーズが少ないため、そこを改善できれば若者が都心へ転居することは少なくなるのではと思う。
15. 他地域から友人や家族が遊びに来た場合に一緒に行こうと思える観光、レジャー、ショッピングの場所が少ない。
16. 汐入のイオンに魅力を感じることができない。若者が定住しない理由の一つだと思う。
17. 横浜や川崎で働いているが、そこに住もうとは思わない。横須賀にはずっと住み慣れている、スーパーも近く住みやすいが、あまりショッピングをしたり遊んだりする機会・場所がないので、もっとショッピングができる環境がほしい。
18. 若い世代にとって、今の横須賀には楽しめる場所が少ない。横須賀中央エリアを再開発して、東京・横浜で勤める 20 代～30 代をターゲットとした 2LDK マンションなどをつくる

とともに、娯楽施設などを整えるべきだと思う。

19. モアーズ、ショッパーズなど、駐車場が有料なので行きづらい。自然豊かでよいところもあるが、ウインドウショッピングをすることがないのでつまらない。
20. 昔ながらの店に入りにくい気持ちが少しあるので、老若男女問わず商店街で買い物を楽しめるような企画を組み、若者も商店街で買い物ができるような環境がほしい。若者が好むようなジャンルのテナントを募集し、若者世代も商店街に入りやすい環境になればよい。
21. 横須賀中央、汐入駅周辺の施設や店舗に、若者のトレンドに合わせたものも増やしてほしい。
22. 最近医療施設が色々増えてその面では便利だが、服屋や雑貨屋、カフェなどおしゃれな店がどんどん減ってきていて、若い世代は買い物するにはほとんどの人が横浜や東京に行ってしまう。そういった商業施設が増えないとどんどん若い世代は市外に行ってしまうと思う。
23. 東京出身なので、東京の方が交通や買い物のしやすさなどのよい所がたくさんある。横須賀には特に服がほしいと思うお店がない。
24. もっとファッションがオシャレなお店が増えたらよいと思う。
25. 商店街におけるシャッターが閉まっている店の多さと、新しいビルやマンションとのギャップで、寂れている印象を強く持つ。飲み屋街など、大きな道路に面する場所ならば女性なども入りやすいと思うので、このような方法で商店街を活用してほしいと思う。
26. 若い世代が横須賀にとどまろうと思わない一番大きな理由は、日用品の品揃えの悪さだと思う。また横浜や都内に出るのに時間がかかる中で、めぼしい商業施設もなく魅力と感じるものがほとんどない。
27. 買い物環境等について、商業施設が古くて空き店舗が多く、衰退しているイメージが強い。
28. 市内でこれからも生活したいと思う一方で、市内で就職先を考えることが難しかったり、魅力的な商業施設がなかったりと、生活面では満足していない人が多いように思う。
29. 買い物をする際に割引される曜日の設立や医療費・交通費・保育所・学費の補助など、若者が住み、働く上で何かメリットになるモノがあれば年齢層が若返るきっかけになると思う。
30. 安針塚付近は本当に何もなくて生活が大変不便。元々は北久里浜近くの実家に住んでいたが、安針塚にはコンビニも何もなくて、地域格差がありすぎると思う。
31. 久里浜、平成町に大型店があるのは仕方がないことだが、横須賀中央が寂れるのはよくないと思う。専門店などが充実した商店街に復活してほしい。
32. 小さいものでもいいので、JR 田浦駅の周辺にスーパーやコンビニがほしい。
33. 久里浜商店街がつまらなくなってきた。人がどんどん減っていく。
34. 追浜在住だが、買い物は週末に価格の安い平成町まで行っている。夫が車を運転できるので今はよいが、将来のことを考えると、横浜市や大和市などに引っ越し事も考えてしまう。

35. 子どもが遊べる室内型テーマパーク等ができると市内外からも人が来てよいと思う。とにかく横須賀は遊ぶところが少ない。
36. 子ども連れで利用しやすいキッズルームなどがある飲食店がもっと増えてほしい。
37. 子育て世代としては、幼児が室内で安全に遊べる場所がもっと充実すると嬉しい。また、BREEZ やプティマインなど、子ども服ブランドの店が少ないため、今は平塚や港北のららぽーとまで買いに行っている。
38. 遊び場などが併設された、子ども連れでのショッピングなどがしやすい複合施設がほしい。また、逸見から追浜にかけては、大きいスーパーやドラッグストアなどの車で行きやすい所がないので不便である。
39. 中規模でもいいので、子どもの一時預かり所を併設したショッピングモールが1つでもあれば活気が出ると思う。たとえ1時間でもママの時間があるだけでだいぶ違う。
40. 雨の日などに子どもが遊べる場所がなく、将来、自分が子育てをしていくことを考えると住みにくい気がする。大きなショッピングモールが1つでもあれば、他市や他県からも人が集まるし、主婦の雇用場所も増えると思う。海や緑もあって横須賀が大好きだが、将来住む場所を選ぶかは考えてしまう。就職は他市だとしても、結婚したら戻ってきたいと思える街であってほしい。
41. 横須賀が大好きで、大学も毎日片道2時間かけて横須賀から通っていた。立地の問題上、都心勤務の単身者は仕方ないかもしれないが、子どもを育てる環境としてはとてもよいと思うので、もっと子育て支援に力を入れて、市外の人が横須賀で子育てしたいと思えるような、一度市外に出た人も子育てで横須賀に戻ってくるような施策があればよいと思う。
42. 小学校の児童数を見ると、この時代でも増えている学校がある。その地域がなぜ増えているのかを考えてみると、定住意識（子育て面）向上のヒントになるかもしれない。
43. 最近さまざまなイベントをして地域を活性化しようとしていて、市の努力を感じる。一方で、横須賀市は横浜市などに比べると子育てに対する支援があまりよくないという話を聞いたことがあるので、もっと子育てに対する支援をアピールしていければ若い人たちが増えていくのではないかと思う。もっとたくさんの人に横須賀市のよい所を知ってもらい、活気のある街になることを願っている。
44. 活気のある魅力的な街になってほしいが、現状はかなり厳しいかと思う。子育て世代への支援があると若い世代が増え、活気づくのではないかと思う。
45. 若い世代を増やすために、東京や横浜にあるような若い人向けの店を取り入れても、若い世代はその場所にあるからそのお店に行きたいのであって、そんな店が横須賀に増えたとしても効果は薄いと思う。店が増えるのは便利だが、それによって昔からある店や自然がなくなるのでは意味がない。
46. 若い世代でも、長い目で将来を見ている人が多いので、大半の人は「流行の店があるから」といった理由で住む場所を決めることはないと思う。「自然が豊かで住みやすい気候、京急などの路線が充実しており都心に近く、東京や他の地域に遊びに行くにも便利」というのが横須賀の魅力だと思う。これに加え、横須賀で働くことに対する支援やメリットがあ

れば、なお住み続けたい気持ちが強くなると思う。

47. 横須賀の魅力をも高める上で、環境のよさは欠かせない。他県から移り住んだ際、空気の清さや海景色のすがすがしさには驚かされた。サイクリングスポットを横須賀中央・馬堀海岸・観音崎、それに加えて、久里浜・浦賀なども含めて、各地への設置を進めること、そして各地区対抗の運動会の開催、ランニングイベント、スポーツイベントの実施など、ただ特産品や産業物を宣伝するだけでなく、環境を存分に活かした催しをたくさん実施すべきだと思う。
48. この素晴らしい自然がある横須賀が大好きなので、もっと可能性を信じあえて支え合える社会を目指して、企業誘致などを通じて横須賀から他のエリアに人が動かないような所を増やしてほしいと思う。
49. 若い世代、とくに子育て世代は住環境を重視して住む街を選ぶので、いつまでも基地を売り出すイメージUPの町おこしでなく、山あり海ありの環境のよさを生かしたまちづくりが大切だと思う。
50. 横須賀は気候にも恵まれたよい土地だと思うので、ぜひ若者が横須賀が好きと思えるような環境づくりを期待している。
51. ある程度の年齢の人が住むには自然環境が豊かで魅力的だが、若者が長期住むと考えると物足りなさを感じてしまう。
52. 勤務先の川崎市では、生涯学習やスポーツジムの公共施設も安価で利用できるが、横須賀のすこやかんは値段も高く利用しにくいいため、自分は川崎市の施設を利用している。また、川崎はフロンターレやバスケットボール、バレーなどでの市民招待が多いが、横須賀はあまりないように感じるので、ぜひベイスターズやマリノスとコラボイベントをしてほしい。横須賀は好きなので期待している。
53. 横須賀は他の都市と比べて自然が豊かで子どもが育つにはとてもよい所だと思う。そういう場所を大切にしたい。
54. 福島県から引っ越してきたが、横須賀中央駅周辺はにぎわいがあり素敵な街だと感じた。住んでいるところも閑静な住宅街で生活しやすく満足している。
55. 今住んでいるところは通勤・通学に便利なので、これからも住み続けたい。
56. バスが高く、車がないと不便。小・中学生時はよいと思っていたが、高校、大学になった時に、横浜に出るしかないと思った。
57. 都心までのアクセスが悪いにも関わらず、京急沿線の土地や家が高い。
58. 古いわりに家賃の高い物件が多くて住みにくいとを感じる時がある。
59. 結婚し子どもが生まれたばかりで賃貸住宅に住んでいるが、横浜に比べて家賃が高い。これから夫婦共働きの生活になると思うが、横須賀は学童保育の料金も高く、自営業の私は起業する場所、住む場所に悩んでいる。
60. 引っ越して来てから気が付いたが、JR 田浦駅前にはコンビニを始め、店がない。空き家も多く、道も暗いため、子育てするにも厳しい環境だと思う。周りも高齢者ばかりで、隣

の船越町と比べるとだいぶ過疎化が進んでいると思うので、治安が悪化しないうちに、市の方で対策を取ってほしい。

61. 汐入から追浜にかけての地域など、都内に就職しても通勤の利便性の高い地域の駅周辺に格安物件があればよい。そしてそれを市内の若者にアピールすれば、市内から通う選択をする人が増えると思う。横須賀に残りたい気持ちもあるが、結婚するまでの一人暮らしを、通勤のわずらわしさを感じずに過ごしたい。
62. 海あり山あり、生活環境はよいが、企業が少なく離れてしまう。よさを知ってもらうためにポケモンGOのような人を集めるイベント企画などをしてはどうか。
63. 地図上で見ると、横須賀は遠いというイメージが強く、住むことを選択しない人が多いと思うが、京急線で都心まで1時間で行くことができ、転入前のイメージと比べて近く、快適に感じる。「遠い」というイメージを払拭するよう、アピールすべきだと思う。
64. 横浜で働こうと考えていた時期に、面接官の方から「横須賀はガラの悪いイメージがある」と言われた。もちろん優しい方がいることは住んでいれば分かるが、他の地域から見ると、そのようなイメージを持つ人もいるようだ。
65. 土地柄か、治安の悪いイメージがぬぐえない。「ここで子育てをしたい」という気持ちになれない。
66. 若い夫婦が住むメリットを見出すことができない。「高齢者が多い」＝「若い人が住みづらい」というイメージがある気がする。若い世代にとって住みよい場所になればいいと思う。
67. 現在住んでいる地域では子どもと高齢者の割合が1：9程度だと聞いており、このような環境で子育てをしようとは思えない。何か若い世帯を呼び寄せる対策を考えてほしい。
68. 高低差があり、利用可能な土地が少なく、街とも郊外とも言えない場所が多々あるイメージ。どういった若者に活躍してほしいのかといったことを考えて根本から大きく変えないと変化しないと思う。
69. 新しく引っ越してくる一人暮らしの人に対しても支援がほしい。
70. 実際に移り住むには、便利さと環境のよさの両立が必要だと思う。都心まで交通費が高くつく中で、それでも家賃や食品・日用品が手頃な値段で求められる「便利さ」がまず必要だと思う。
71. 転入当初は平成町の大型店や久里浜の八百屋等、特定の地区のにぎわいには驚いたが、それ以外であまり突出したところはないように思う。多くの人口を抱えている中で、商店街の充実や大型店の誘致によって、人口と便利さを維持・発展していくために、努力を重ねていくべきだと思う。
72. 東京、横浜に憧れる若者は仕方ない（憧れてしまうもの）ので、その若者をいかにして横須賀につなぎとめていくかが重要。
73. 県立保健福祉大や神奈川歯科大があるので、大学生が魅力を感じる街にすれば、そのまま横須賀に住み続けると思う。そのため、大学生に意見を求めることもよいと思う。

74. YRP の辺りに大学やアメリカンスクールを誘致してはどうか。
75. 横須賀で生まれて育っているため横須賀に愛着が湧く反面、休日の昼間にも関わらず人気がない商店街を通る度に、この先横須賀はどうなってしまうのだろうと不安に思う。
76. 横須賀は魅力的な街だと思う。ただ、そこに気づかない人が多いことが惜しい。
77. 横須賀市はとても住みやすいと思う。もっと若い人が横須賀で就職して結婚して子育てしやすい環境づくりが必要になってくる。市の中心である、横須賀中央や汐入がもっと活性化していけばよいのになと思う。
78. 川崎市などでは、路上ライブができる等の行政の支援があると聞いたため、他の市の方が魅力的だと思う。
79. 市政が何をしているのかが見えにくいし、それによってよい影響を受けている感覚もない。住みやすさは昔から変わらないが、住みよくなったとは言い難い。
80. 横須賀は、悪い所は少ないと思うが、いい所も少ない。友人に「横須賀の魅力は？」と聞かれても、すぐに思いつくような点がない。もっと魅力のある街、地元民が自慢できる街を目指すべきだと思う。
81. 三崎や金沢文庫の人など、近隣の住民が横須賀に来るようになってほしいが、例えば三崎の人は横須賀に行くなら湘南方面に行くし、金沢区の方は横浜方面に行くように思う。横須賀は中途半端な場所だが、だからこそいろいろな地域の人が横須賀に来られると思うので、頑張ってほしい。
82. 最近、新しいマンションをよく目にする。街を活気づけるために企業や商業施設を積極的に誘致してほしい。
83. 若い層の人口を増やせるように頑張ってほしい。
84. 住んでいるメリットが少ない。
85. 以前と比べ複合型商業施設等が少なくなり、若い世代の遊び場がなくなっていると感じる。活気あふれるまち横須賀を取り戻してほしい。

観光・にぎわい

1. ごみ収集車のオルゴールが市歌になったり、ポケモン GO のイベントをやったり、市長が変わってから横須賀を盛り上げようとするところがとてもよいと思う。
2. 今年はポケモン GO とのコラボでとてもにぎやかな街を感じられ、とても嬉しかった。横須賀中央にニョロニョロスタンドがあるのは本当に素晴らしい。
3. ポケモン GO のイベントはとても活気があるように感じたので、もっとこの手のイベントを行うべきだと思う。ただし、国道 16 号線を始めとした交通渋滞対策が必要。
4. ポケモン GO サファリゾーンと TROPICAL DISCO、そして時々の音楽イベントも楽しかった。市長を応援しているので頑張ってほしい。

5. ポケモン GO のイベント誘致は地域活性化につながり、よい試みだと思った。
6. ポケモン GO のイベントはすごくよいと思う。
7. アニメ「はいふり」とのコラボなど、市の観光イベントは正直、あまりインパクトが強くないものが多いように感じるので、ポケモンイベントのような、大々的なものに今後も取り組んでほしい。
8. ポケモン GO などのイベント誘致など、これからも新しいイベントや流行に乗り遅れない活動をお願いしたい。
9. 現市長になってから、さまざまなイベントや企画など、横須賀発信・中心としたものが増えたように感じる。私たち 10 代、20 代も頑張るので、身体には気を付けてこれからも頑張ってもらいたい。
10. 横須賀をもっと音楽で盛り上げれば、人も集まり魅力が伝わるかと思う。
11. 音楽とのコラボレーションなどで、花火大会をもっと盛り上げるべき。
12. 音楽フェスなど、もっとイベントを増やしてほしい。
13. 先日、芸術劇場で声優イベントがあり、人がとても多く集まっていたが、待ち時間などに観光・食事などができる場所が限られていて、人が集中してしまっていた。若者が気軽に入れるカフェやショッピング施設があればよいと思う。
14. マリノスなど、スポーツ関連の誘致を進めるのはよいと思う。
15. さまざまなスポーツのイベントが開催されていることはよいと思う。
16. 横須賀市といえば横須賀米軍基地だと思うので、もっと米軍基地の方との交流を増やし、東京オリンピックに向けて、観光客も多く受け入れていく必要がある。
17. 海上自衛隊やアメリカ海軍などとの関係性のよい街だと思うので、もっと有効活用すべきだと思う。
18. 浦賀ドッグについて、当時の面影が残ったままなのだから、写真スポットにして観光客を増やしたり、モールを建てたりするなど、有効活用すべき。
19. 横須賀の魅力は自然（都心からも近い）だと思うので、ソレイユにできたオートキャンプ場や、観音崎のグランピング施設のように、もっとアウトドアに注力した施設があると、若い人も遊びに来てくれると思う。
20. 観光スポットはあっても利用しづらい点がある。観音崎は県の駐車場があるが、利用時間が短く料金も安くはないので使いにくい。また浦賀の知名度はすごく高いのにも関わらず現状、下車するとコンクリ塀が見えるだけで海も望めないのが訪問客はがっかりする。横浜までとは言わないが、ドックを有効活用して観光化を図るなどの投資をすべきだと思う。
21. バイクや自転車で遊びに来る人は多いので、観音崎などに駐輪場を整備するとともに、横須賀中央や久里浜などの主要駅周辺には商業施設を、久里浜港や佐島などの駅から遠いところには一次産業系で PR できるスポットを充実させれば人が集まると思う。

22. 横須賀の名産などが気軽に買えるショップなどを充実させてほしい。
23. 駅の近くに周辺マップや路線バスのマップがほしい。横須賀のイベント時にスタッフが少なすぎて案内がされない。
24. 横須賀市内に娯楽施設を増やすとともに、安価なビジネスホテル等を増やした方がよい。
25. 横須賀を盛り上げたいと思う若者が気軽に集える場があるとよい。
26. 駅周辺がもっとにぎやかになれば、あまり降りない駅でも降りてみようと思える。
27. 横須賀にはきれいな人やかっこいい人が意外と多いように思う。「ミス・ミスター横須賀」などがあったら楽しいと思う。
28. カジノをつくってみたいかどうか。
29. 今後、追浜～田浦が発展してくることで、横浜から横須賀への人の流れが増えることを期待したい。
30. 京浜急行などの地元企業と協力して東京や横浜からの観光客を誘致し、横須賀を活性化してほしい。
31. 横須賀の東側はテレビなどでも結構見かけるが、西側はあまり見かけない。もっと PR すべき。
32. 普段の生活の中では、市内のイベントに関する情報があまり入ってこないように感じる。
33. 外から人を呼ぶために商業施設をつくってはどうか。また、猿島や軍港めぐりなどの観光収入を市の収入にすることはできないのか。

子育て・教育

1. 不妊治療に力を入れていると言っているが、市内に不妊治療指定医療機関が1つもない。子育てに対しては補助等が出されているが、今の世の中、子どもができない家庭が多いのが現状なので、それに対する支援を充実させないと若い人は横須賀を出ていくと思う。
2. 現在不妊治療を行っているが、市内に専門の医療機関がなく、横浜まで行かなければならない。体外受精をするには何度も病院に通わなければならないので、横須賀市にも体外受精のできるクリニックをつくってほしい。
3. もっと子どもたちが遊べる場所をつくってほしい。
4. 公園のルールが多すぎる。もっと子どもの遊びやすい広々とした公園が地域に1つほしい。
5. 小さい子ども(0歳児～2歳児など)が遊べる所がもっとほしい。公園はたくさんあるが、室内の遊び場が全くない。
6. 結婚を機にこちらで生活するようになったが、乳幼児の子が遊べる支援センターがなかなかない。駐車場がなかったり、駐車場があっても施設が狭くのびのびと遊べなかったりと、満足できる所がない。また、イベントなどが増えればもっと足を運びたいと思っている。

7. 有料でもいいので、小さな子どもが安全に遊べる場所が増えてほしい。
8. 子どもが生まれてから、公園、児童館などに行くようになったが、全体的に古い。もっと子どもが広々と楽しくなるような公園や施設ができるとよい。
9. 室内で子どもを遊ばせることができる施設が増えるとありがたい。横浜市内や東京にはそういう施設がたくさんあるように思う。
10. 子どもが安全に遊べる場所、休日に家族で出かけられる場所を増やしてほしい。
11. 小さい子ども向けの遊具を充実させるなど、乳幼児を連れて安心して遊べる公園や施設があれば市から離れていく人も減ると思う。
12. 市全体でボールを使える公園等を増やしてほしい。大きい公園があるのにもったいない。
13. 子育てに対する支援が横浜市と比べて劣っていると思う。
14. 子育てに対する支援が充実してきていて助かっている。このままもっと子どもにお金を使っていたきたい。
15. 今後の結婚生活や育児のために、小学生に入学するまでの育児・教育補助金があると市内での生活が続けられると思う。
16. 保育園や学童保育等の場所が増え、働く女性が働きやすい環境になれば、市外からも若い世代が転入してくると思う。
17. 神明公園入口の国交省の建物など、活用頻度の低そうな建物等を借り受けて学童保育等にできないか。
18. 保育所の定員を増やす事も大切だが、その前に保育士の給料を上げてほしい。横浜や都市部に比べ低すぎる。
19. 横須賀市は国より先に幼稚園無償化を導入する話があると聞き 2019 年度に期待していたが、それはないようで少し残念に思う。
20. 横須賀が大好きなので、もっと保育園、学童クラブを増やしてほしい。また、給食費の減免など、母子家庭に対する支援を充実させてほしい。
21. 保育料の補助や、働きたい母親に対する支援があればよいと思う。横須賀には土・日に預けられる保育園があまりに少なく、産休復帰するのに支障がある。
22. 学童クラブを充実させてほしい。
23. 横須賀市もまだまだ保育園入園が混雑している。引っ越しの時期が 12 月で、4 月頭からの入園募集が締め切られていたため、5 月以降の途中入園で申し込んだところ、1 年後の 4 月ようやく 2 歳児クラスに入れた。子どもを産めるうちに産みたいが、兄弟枠がないと育てるのがなかなか難しい。ただ、医療費がかからないのは大変ありがたい。
24. 子どもが小学生になったら学童クラブに入れないと働けないが、料金が安い。中学校も給食を取り入れてほしい。
25. 来年小学生になる子どもと二人暮らしで金銭的に厳しい生活のため、中学校の完全給食化、子どもの医療費無料化拡大は大変ありがたい。現在正社員で働いているが、親戚や頼れる

知人もおらず、土日祝日の仕事の日には市のシッターや託児施設にお世話になっている。学童クラブへの出費や、日曜祝日の子どもの預け先など、4月からの生活が心配で不安に感じている。

26. 海外姉妹都市交流や奨学金制度などがさらに充実していると魅力的な都市になると思う。
27. 同じ県立高校でも、学校によってエアコンをつける基準が違う。時期ではなく気温で基準を統一してほしい。
28. 教職員について、業務量に見合うよう増員および給与を増額してほしい。
29. 商業施設を増やすより、子どもの教育の質を高めたり、治安をよくしたりすることを優先すべきだと思う。
30. ベースがあるのだから、子どもの頃から外国人と関わることができる環境が増えれば、他の地域との差別化ができてよいと思う。横浜などには、わざわざ外国人先生のいる私立保育園に子どもを預けている人も多くいる。横須賀なら公立で同じ環境をつくれるのではないか。
31. 以前と比べて中間の偏差値の高校がなく、比較的高い偏差値の高校に少しかつ届かない子どもたちが、本来の偏差値よりずっと低い高校へ入学せざるを得ない。教育環境がよいとは思えないので、ぜひ中間の公立高校を整備してほしい。
32. 塾に行くことが前提になっている教育の現状を何とかしてほしい。
33. 子どもたちの学力の問題は、貧富の差だけではなく、教育者の質の問題だと思う。
34. 福祉や子育て支援に力を入れてほしい。
35. 夫婦共働きでも子育てがしやすい市になってほしい。でないと結婚に希望がもてない。
36. 子育てしやすい街にしてほしい。
37. 人口減少に歯止めをかけるため、子育て支援に関する横須賀市独自の施策の推進を期待している。
38. こども関係をもっと充実させてくれたら嬉しい。
39. もっと子どもを育てられる環境にしてほしい。

まちづくり

1. 喫煙禁止区域の条例に罰則を設けてほしい。他ではあるのになぜ罰金がないのか疑問。
2. 横須賀中央駅前の路上禁煙の場所で喫煙している人や吸い殻が不快なのでなんとかしてほしい。
3. 駅周辺に喫煙所をつくってほしい。
4. 歩きタバコをしている人を多く見かけるのでやめてほしい。
5. 市街地にパチンコ店が多すぎるのはイメージが悪い。

6. 歩道にゴミなどが多く、印象が悪い。
7. 久里浜海岸の汚れがとても気になる。BBQ や祭の時など、海の使い方など決まり事を徹底させてほしい。
8. 資源ごみの回収率を高めるために袋が配布されていたが、自分が普段利用するゴミ捨て場で資源ごみを回収してもらえる方が便利に思う。
9. 放置自転車がが多い。
10. 久里浜田浦線が開通し、土地が大きく余っている。高速のインターからもアクセスがよいため、商業施設ができると嬉しい。地方などでは、アクセスのよい場所には大きな商業施設があり、経済を大きく回している。その反面、不満を感じる住民が出るのも事実ではあるが、何かを犠牲にしない限り横須賀は発展速度をどんどん下げると思う。米軍基地周辺に小さな規模で新たな商業スペースをつくるよりは、余った土地を盛大に大きく使ってほしい。
11. 横須賀中央駅エリアがもっと整備されて素敵になるとよいと思う。
12. 横須賀の街は外観的にあたたかさが少し欠けるように感じる。横須賀中央の商店街は晴れていてもうす暗くて寒い。それと、ショッパーズは好きだが、最近はシャッターの閉まっている店が増えてきて寂しい印象がある。
13. 三笠通り付近の再開発に早期に取り組む必要がある。
14. 浦賀駅周辺にはファーストフード店などがほぼないので、もう少し発展すると嬉しい。
15. 追浜を学生が好むような街に変えてほしい。
16. うわまち病院を移転させたら上町は終わると思う。若者も高齢者も住めない地区になっていきそう。
17. 高齢化に伴い、カフェやレストランなど安くて誰もが利用しやすいところに高齢者の方が長時間大声で話している場面に多く遭遇する。若い世代が落ち着いてゆっくり過ごせるような所もつくってほしい。
18. 人口増加や観光客を増やすため、街の都市計画をするべきだと考える。海と緑に恵まれた環境の中で都市化を実行すればもっとよりよい横須賀市になると思う。
19. まちづくりファンドを導入するなど、これからもよいまちづくりに向けて取り組んでほしい。
20. 就職を機に県外より横須賀へ引っ越してきたが、人の温かみがある街だと感じる。ただ、警察署などの場所が遠く、少し不便な点、治安面はどうかのだろうと感じる部分もある。こちらに越して来る際に「車はなくても大丈夫」と言われ手放して来たが、その点少し車社会の面もあり、今後高齢者が増えていく中で、もう少し公共交通機関（バス、タクシー）などを利用しやすくする工夫も必要かなと感じる。1人でも暮らしやすい、家族でも暮らしやすい街になるとよいと思う。
21. 人とのコミュニケーションが苦手な人（発達障害なども含む）が暮らしやすい働きやすい街にしてほしい。

22. 図書館を平地に移して、学生や高齢者に使いやすくしてほしい。
23. 閲覧スペースを広くするなど、図書館の充実を希望する。
24. 行政センターなどに自習スペースとして開放されている部屋があると嬉しい。また、きれいで大きな図書館ができたらかくさん利用したい。
25. 図書館への交通の便が悪い上、駐車場もよくうまっけていて利用しづらい。
26. 市内に高齢者の方が多いのは事実だが、未来を見据えて、ぜひ子どもにも焦点をあててほしい。無料で遊べる公園があるのと同じように、無料で使える自習スペースが横須賀中央などにあれば人が集まると思う。実際にスターバックスなどには、自習をしている若い世代がたくさん集まっている。
27. コミュニティセンターの自習室を開放してほしい。
28. 書店を増やしてほしい。
29. 坂が多いことや半島という地理的要因で人が住みづらいエリアであることは変えられない。新しいことを始められる空間、場所づくりとして、空きテナントにアーティストが在住できる仕組みなどを検討すべき。
30. 空き家を減らすために頑張してほしい。
31. 若い人が増えるよう、まちづくりを頑張してほしい。
32. 横須賀を魅力のある街にしてほしい。

交通インフラの整備

1. 将来、横須賀市内で生活しながら都心で働きたいと考えている。より利便性の高い交通網が配備できるような施策を検討してほしい。
2. 市内での就職先は限られており、東京での就職が多い。東京に通勤する場合、通勤時間が長い上に着席できる駅が少ない。着席機会のある列車を増やすことで通勤の負担を軽減でき、転居先に横須賀市が候補に入ってくると思われる。
3. 現在東京の学校に通っているが、京急線を利用していると、東京まで通勤、通学されている方が多いのだと感じる。
4. 朝や夕方など、通勤通学時の渋滞が少しでもよくなれば嬉しい。
5. 横須賀線の逗子～久里浜間の増強を JR に要請してほしい。
6. 横須賀線の本数が少なく不便。久里浜行きの電車を増やしてほしい。
7. 本町山中有料道路をよく利用するが、混雑であったり支払が現金のみであったりといった利用のしづらさがあるので、改善を期待している。
8. 横浜横須賀道路の料金値下げおよび本町山中道路の ETC 化に取り組んでほしい。
9. 金沢八景から横須賀市内までのバイパスの早期開通に大変に期待している。

10. 池上十字路から逸見までの間や、湘南池上（池上7丁目）にバスを通してほしい。また、横須賀インター下のセブンイレブン前およびファミリーマート前に、渋滞解消のための矢印信号をつけてほしい。
11. 国道16号などのトンネルを自転車で通るときとても怖いので、道路に自転車レーンを整備してほしい。
12. 吉井の踏切の渋滞がひどくて困っている。
13. 高速道路が高すぎる。
14. 西地区に鉄道を走らせてほしい。例えば、お洒落な路面電車などよいのではないか。
15. 西地区は、海や山があり、自然豊かであるが、公共交通機関が不便。バスだと料金が高いため、電車を通してほしい。
16. 市内でも利便性に差がありすぎる。自分が住んでいる地域は電車もバスも通り比較的便利だが、西地区は不便に感じる。その地域間の格差が、横須賀の悪いところではないか。
17. 西地区在住だが、交通の面にやや不満がある。もう少しバスの本数を増やすとともに、最終バスの時間を延長してほしい（できれば電車をひいてほしい）。
18. 長坂などは交通の便が悪いので、電車を通してほしいと強く願う。
19. 武山に駅ができることを願う。バスは時間通りに来ないし、終バスの時間も早い。
20. 西地区にも電車を。
21. 西地区へのアクセスが大変悪く、車を持っていなければソレイユの丘等へは行きたいと思えない。近くに駅をつくってほしい。
22. 武山に駅をつくってほしい。
23. 西地区の交通の便が悪いので、駅をつくってほしい。
24. 終バスの時間が早い
25. 栗田の「かめさん公園」のバス停は利便性が高いので、夜間も含めて本数を増やしてほしい。
26. 交通網が脆弱で交通手段がなくなることがあるので、横須賀線の複線化や逸見鷹取山線を整備するなど、ダブルネットワーク化を進めてほしい。
27. モノレールなどのバスにかわる交通手段の整備をしてほしい。
28. 衣笠地区には電車はあるものの本数がとても少なく、またバスも本数が減ってきている。市外へ出るにも時間がかかり、過疎化が進んできているように感じる。
29. 小川町の三笠駐車場付近の歩行者用信号の待ち時間が長すぎる。夜間のみ押しボタン式になるのも分かりにくい。
30. 自賠責保険の切れた2輪車が市の駐輪場を定期利用している。自賠責保険は義務なので、自賠責保険切れや無保険の利用者は駐輪場を利用できない様にするべき。

安全・安心

1. 市役所の建物が古く、災害等があった場合に機能するのか不安に思う。
2. 災害対策や避難経路について、ホームページを見るとさまざまな取り組みを行っているようだが、日常生活の中では見えづらく、もったいない。また、「横須賀市民便利帳」に標高の記載はあるが、崖や塀が崩れやすい所や地盤が沈下しやすい所などは分からない。ハザードマップや防災・避難に関する情報をまとめた冊子があるとよいと思う。
3. 救急センターや警察署が海沿いに移転し、津波の被害が心配。
4. 地震等の災害が心配。万が一起きてしまった場合の対策がより分かりやすくなると安心だと思ふ。
5. 平成町に横須賀の主要機関が集中しているようだが、災害（津波、液状化）の時に市政が大丈夫なのかが心配。
6. 行政機関が平成町に移っているが、災害時の液状化、津波や浸水など十分考えられているのかが心配。東日本大震災などを鑑み、想定外は通用しないと思う。
7. 最近停電が多いため、原因を教えてください。
8. 街灯を増やしてほしい。
9. 防犯カメラがちょっと少なく、道が暗い。パトロールを増やしてほしい。（逸見地区）
10. 近くに店がない上に、山の方なので街灯が不足しており、女性の一人歩きが危険だと思う。また、足が不自由な老人も多いため、市として何かしてあげることができないか。（田浦地区）
11. 横須賀は静かでよいところだと思う。ただ、夜になるとやや治安が悪くなる印象があるので、どうにかできればと思う。
12. 逸見駅から沢山小学校まで（その先も含む）の道路が暗く、夜が怖い。もう少し街灯をつけて明るくしてほしい。また、逸見の交番は夜間不在が多く、何かあった時の事を考えると不安。
13. 街灯が少なく夜に出歩く時に怖い場所があるので、街灯を増設してほしい。
14. 暴走族がうるさいはどうにかならないか。

福祉・医療

1. 医療費を高校生まで無料にしてほしい。
2. 期限の切れた保険証や資格のなくなった保険証等を使用している患者さんが多いと感じる。市からきちんとした呼びかけをしてほしい。
3. 母が難病で重度訪問介護サービスを受けているが、介護、家事、仕事といった父の負担を考えるとまだまだ不足している。さらなるサービスの充実をお願いしたい。

4. 特別養護老人ホームの立地、利便性があまりよくないと思う。駅から近い、平坦な場所にあるなど、利便性がよくなれば雇用の面でもプラスの影響が出てくるのではないかな。
5. 障がい者が余暇や休日を楽しく過ごせる場所をつくってほしい。
6. ひとり親家庭への助成制度や生活保護を受けている人たちの現状をきちんと調査して、本当に支援を必要としている人だけに税金を使ってほしい。
7. 働けるのに働かず、タクシーにパチンコ、市役所で用紙をもらえば病院で診てもらえて当然と思っている生活保護受給者もいる。1人1人生活保護の認定されるのも大変かと思うが、税金なので厳しくみていただければと思う。
8. 指定難病医療費助成制度の認定の基準が分からない。完治できない病気は認定されるべきではないかな。

市政全般

1. 横須賀に必要なのは、新陳代謝と街のアイデンティティを失わないことの2点だと思う。都心から電車で1時間、働きに出るのも買い物も娯楽も全て東京で事足りる。いくら横須賀に最新のトレンドが流入しようが、都心の方が充実しているし、これは変えようのない事実だと思う。それよりも、高低差の激しい道であったり、木がうっそうと生い茂る森であったり、海であったりといった、横須賀ならではの個性を大切にすべきだと思うし、実際自分はそうした点に魅力を感じている。
2. 横須賀のよいところは、個性的なところである。それが活性化につながっていくので、アイデンティティを大切にしながら何か自分もそれに貢献していけたらよいと考えている。
3. 生まれてからずっと横須賀市に住んでいるので、これからさらに素敵な街になってほしいし、市内の人にはもちろん、市外の人にもたくさん横須賀の魅力を知ってほしい。そのために、私たちのような若い世代が努力すべきだと思う。
4. 横須賀が好きなので、若い人が仕事や子育てをしやすい環境であれば、ずっと住んでいたいと思っている。
5. 横須賀は私の生まれ故郷であり、私が誇りに思っている大切な土地なので、もっと横須賀の魅力をやその人にも知ってほしいと思う。
6. 高齢者が増えている中でのニーズを考えるべき。若者が外に出ていく傾向が多いことに対して何が原因であるのか、もう少し深く考えなければ、市内の労働力人口がとて少なくなるし、市内の金の動きはよくなるのではないかな。
7. 横須賀は田舎すぎず都会すぎず、都会へもそう遠くなく、緑も海もあって、できればずっと住み続けて子育てをしたいという思いはあるが、東京電力が新たな石炭火力発電所になることを考えると、最新鋭の排ガス装置や設備だとしてもやはり健康面や環境面がとて不安に思う。
8. 横須賀市全体を活性化してほしい。

9. 支払等も含め、もう少し SNS やモバイルサイトを使用し電子化を進めてみてはどうか。
10. 若い人達にとっての魅力がない。
11. 横須賀が好きなのでがんばってほしい。
12. なぜ日本は「していいこと」ばかり挙げて人々の生活をマニュアル化していくのか分からない。単純に「しちゃダメ」なことだけを挙げ、「他は自由なんだ」というラフな考え方をさせるべき。
13. 横浜市になりきれしていない感じがする。
14. 横須賀をアピールするために横須賀ナンバーをつくってほしい。
15. 防災無線で市歌を流すのをやめてほしい。郷土愛を押しつけないでほしい。
16. 時報のチャイムを元に戻してほしい。
17. 不満な点というのも特にないが、市長が変わって、こういった政策をとられている、具体的にこうよくなったというのがいまいち分からない。今後の任期に期待している。
18. 高齢者の割合が高い市なので仕方ないと思うが、もっと若い人向けの市政の実施をお願いしたい。すぐに結果を出してくれとは言わないが、少しでも目に見える形で実現してほしい。
19. 市役所関係の人と関わる事があるが、全体的に活気がなく元気がない。まずは明るい市役所に変えてほしい。
20. 市政の具体的な動きが感じられない。もっとオープンにわかりやすい市政を希望する。
21. 非常勤職員も含め、市役所職員の知識、対応の違いが大きすぎると感じたので統一してほしい。
22. 横須賀の市政を知らない。学校で教えてほしかった。
23. 広報よこすかを読むと、高齢者と子どもに対しての催しばかりが載っている。仕事をしている年齢の人は参加率が悪いので開催しないのかもしれないが、こういった所から市の若い人に対する関心の薄さを感じる。
24. 独身の単独世帯だと市の政策などをほとんど知らない人もいると思うので、横須賀市が特に力を入れていることや特別な政策など分かりやすくまとめたものを広報などで配布したりするのもよいかと思う。
25. 市の施策が広く市民に伝わるよう、また、県民にも知ってもらえるよう、うまく PR することが重要。
26. 公共サービスが充実していなければ、人は集まらないと思う。
27. 色々な面で相談をしても「それは決まりなので」「やってあげたいんですが」など、あいまいな回答しかもらえない。相談しづらいし、できない。
28. 何を目的に街を活性化するのが、よく分からない。今の横須賀には魅力が少なすぎる。もっと未来を見据えて税金を使うべきだと思う。

29. 三浦市と合併してもよいのではないかと。
30. 期日前投票所が横須賀中央に1カ所しかないので、久里浜と追浜および市内の南西部にも設けてほしい。
31. 若い年代の投票率を上げていくために、小・中学校の総合の時間などで、選挙についてしっかりと学ぶ時間を確保すべき。自分が小・中学生の時は、簡単に説明をされただけでほとんど記憶に残っていないので、何らかの形で選挙についてじっくり考えさせる時間を設けていただきたい。
32. ふるさと納税の品が高すぎる。お得感がない。
33. 無駄なところにお金を使わず、育児や福祉など生活の質をよくするためにお金を使ってほしい。
34. 市内で子どもを産んで育てると考えると、支援が手厚いとは感じない（あったとしても知らない）ので、生活するのに十分な賃金体系を整えて、公共からのサポートもしっかりしている、と市民が思えるような整備をしてほしい。未来への安心感がないので、市が市民の生活を支え、守ってくれると感じられる活動をしてほしい。
35. 早くコンビニで住民票を取れるようにしてほしい。働いていると住民票を取るために仕事を休まなければならない。
36. 人口減少に歯止めをかけ、大手・中堅企業が営業拠点を横須賀に増やすことができれば、市内は活気ある街になっていくと思う。
37. ポートマーケットの失敗について、しっかりと原因調査と対策を行うとともに、運営は指定管理者任せではなく、市が介入すべき。
38. 住民税が高い。
39. 水道代が高い。
40. 今回のような意識調査は、自分についても考え直す機会になるので、定期的を実施してほしい。
41. このようなアンケートが届くと、あらためて横須賀の魅力や将来を考えさせられるよいきっかけになると思う。若者の意見を取り入れようとしてくれるのも、嬉しく感じた。希望や期待感の持てる街の実現、ぜひ応援したいと思う。
42. 今後の社会は、英語とネットの二つがキーワードだと思う。この調査もスマートフォンから気軽に回答できるのは、とてもよかった。
43. 今回のアンケートに回答することで横須賀の現在や未来について考えることになったので、考える機会を増やせば、まちづくりに協力性が出てくると思う。
44. このようなアンケートを行う際、市内の商店などで使える商品券等を同封すれば回答率が上がるのではないかとと思う。
45. こんなアンケートをしても、どうせ何も変わらないだろうなとわかってきている。期待させないでほしい。

46. インターネットで文字を打つより、紙に書く方が自分の好みに合う。若い人の中でも同じように思う人も多いのではないか。

IV 調査票

◆定住意識について

問1 あなたは、いつから横須賀市にお住まいですか。
(○は1つ)

- 1 生まれてからずっと
- 2 就学前～小学生の時から
- 3 中学～高校生の時から
- 4 大学生の時から
- 5 就職を機に
- 6 結婚を機に
- 7 1～6以外

問2 あなたは、これからも横須賀市に住み続けたい
ですか。(○は1つ)

- 1 今住んでいるところに住み続けたい
- 2 横須賀市内のどこかに住み続けたい
- 3 市外に転居したい
- 4 わからない

問5へ

問5へ

問3 【問2で「3 市外に転居したい」を選んだ方のみ】
市外に転居したい理由は何ですか。
(○は2つまで)

- 1 通勤・通学に不便
- 2 市内に働く場所が少ない
- 3 買い物などの日常生活に不便
- 4 魅力的な商業施設(ショッピングモールなど)
がない
- 5 街なかのにぎわいがいい
- 6 親・親族の近くに住みたい
- 7 これまでと違う環境で暮らしてみたい
- 8 子育てに関する助成が十分でない
- 9 保育所の整備が十分でない
- 10 通いたい、または子どもを通わせたい学校がない
- 11 家賃が高い
- 12 家までの進入路が狭いなど、住環境がよくない
- 13 治安がよくない
- 14 災害が心配
- 15 市全体が衰退しているイメージがある
- 16 その他
(具体的に：)

問4 【問2で「3 市外に転居したい」を選んだ方
のみ】

たとえば、どこに転居したいですか。

- 1 具体的な場所をご記入ください
⇒ ()

※記入例：横浜市、川崎市、東京23区、●●県●●市…

- 2 具体的な場所は考えていない

◆就業意識について

問5 あなたは、現在就職していますか。(○は1つ)

- 1 就職している
- 2 就職していない

問9(次ページ)へ

問6 【問5で「1 就職している」を選んだ方のみ】
あなたの就業形態はどれですか。(○は1つ)

- 1 正社員・正規職員
- 2 パート・アルバイト
- 3 契約社員・派遣社員
- 4 自営業・フリーランス
- 5 その他
(具体的に：)

問7 【問5で「1 就職している」を選んだ方のみ】
あなたの就職先はどこですか。(○は1つ)

- 1 横須賀市内
- 2 横浜市
- 3 川崎市
- 4 神奈川県内(1～3以外)
- 5 東京都
- 6 その他の道府県

問14(次ページ)へ

問8 【問7で「2～6(横須賀市外)」を選んだ方のみ】
就職先に横須賀市外を選んだ理由は何ですか。
(○は2つまで)

- 1 市内に希望する企業や業種がなかった
- 2 市内企業の情報がなかった
- 3 視野を広げるため
- 4 都心で生活したかった
- 5 遊べる場所の多さ
- 6 賃金などの労働条件のよさ
- 7 知名度の高い企業の多さ
- 8 市内企業も含めて就職活動をした結果、
市外企業に採用された
- 9 もともと横須賀市外の出身だから
- 10 その他
(具体的に：)

問14へ
(次ページ)

問9 【問5で「2 就職していない」を選んだ方のみ】
あなたは、現在または将来的に、就職を希望していますか。(○は1つ)

- 1 希望している
- 2 起業を考えている -----▶ 問 11 へ
- 3 希望していない -----▶ 問 14 へ

問10 【問9で「1(就職を)希望している」を選んだ方のみ】
あなたが希望する就業形態はどれですか。
(○は1つ)

- 1 正社員・正規職員
- 2 パート・アルバイト
- 3 契約社員・派遣社員
- 4 その他(具体的に:)

問11 【問9で「1(就職を)希望している」「2 起業を考えている」を選んだ方のみ】
あなたが希望する仕事内容はどれですか。
(○は3つまで)

- 1 農水産業 (農業、漁業など)
- 2 建設 (建築、土木など)
- 3 製造業(自動車関連)
- 4 製造業(その他)
- 5 情報通信、IT (情報サービス、映像制作など)
- 6 運輸、物流 (鉄道、陸運など)
- 7 卸売、小売 (商社、スーパー、服飾店など)
- 8 金融、保険 (銀行、証券など)
- 9 不動産
- 10 学術研究、専門・開発サービス (研究機関、弁護士、デザイナーなど)
- 11 宿泊、飲食サービス (ホテル、飲食店、配食サービスなど)
- 12 生活関連、娯楽 (理容・美容、スポーツクラブなど)
- 13 教育、学習支援 (学校、学習塾など)
- 14 医療 (病院、クリニックなど)
- 15 福祉・介護、保育 (介護施設、保育所など)
- 16 公務 (国・県・市の職員など)
- 17 その他(具体的に:)

問12 【問9で「1(就職を)希望している」「2 起業を考えている」を選んだ方のみ】
あなたが就職・起業したいと思う地域はどこですか。(○は1つ)

- 1 横須賀市内 -----▶ 問 14 へ
- 2 横浜市
- 3 川崎市
- 4 神奈川県内(1～3以外)
- 5 東京都
- 6 その他の道府県

問13 【問12で「2～6(横須賀市外)」を選んだ方のみ】
横須賀市外で就職・起業したいと思う理由は何ですか。(○は2つまで)

※問9で「2 起業を考えている」を選択した方は、「その他」欄に具体的な理由をご記入ください。

- 1 市内に希望する企業や業種がない
- 2 市内企業をよく知らない
- 3 視野を広げるため
- 4 都心で生活してみたい
- 5 遊べる場所の多さ
- 6 賃金などの労働条件のよさ
- 7 知名度の高い企業の多さ
- 8 実家が市外だから
- 9 その他
(具体的に:)

問14 市内で働く若い人を増やすために、あなたが有効だと考える取り組みはどれですか。
(○は2つまで)

- 1 インターネットなどにより市内企業の活動内容や求人情報をより多く提供すること
- 2 就職活動に関する講座やセミナーを充実させること
- 3 就職に関する相談を気軽にできる専門の相談員・相談機関を充実させること
- 4 技術・能力向上のための職業訓練機会を充実させること
- 5 合同企業就職説明会など、市内企業と接する機会を増やすこと
- 6 就労体験・インターンシップを実施する市内企業の拡大を図ること
- 7 創業に関するセミナーや助成など、起業に対する支援を充実させること
- 8 企業を誘致し雇用拡大を図ること
- 9 保育所の定員を増やし、働きやすい環境づくりを進めること
- 10 職場見学や実習など、復職(再就職)に対する支援を充実させること
- 11 その他
(具体的に:)

◆買い物環境について

問 15 あなたは、市内の買い物環境に満足していますか。

①日用品と、②日用品以外の買回り品のそれぞれについてお答えください

問 15-1 ① 日用品*の買い物環境 (○は1つ)

※日用品：食料品や家庭用品など

- 1 満足している
- 2 ほぼ満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満である
- 5 不満である



問 15-2 【問 15-1 で「4 やや不満」「5 不満」を選んだ方のみ】

日用品の買い物環境に不便・不満を感じる理由は何ですか。(○は2つまで)

- 1 家から歩ける距離に店が少ない
- 2 駅周辺など、通勤・通学途中に寄れる店が少ない
- 3 店までの交通の便が悪い
- 4 駐車場・駐輪場が利用しにくい
- 5 品揃えが少ない
- 6 新製品・流行品がない
- 7 価格が高い
- 8 営業時間が自分の生活と合わない
(利用したい時に営業していない)
- 9 一カ所で用事が済ませられない
- 10 その他
(具体的に：)

問 15-3 ② 日用品以外の買回り品*の買い物環境 (○は1つ)

※買回り品：趣味やファッション、レジャー用品など

- 1 満足している
- 2 ほぼ満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満である
- 5 不満である



問 15-4 【問 15-3 で「4 やや不満」「5 不満」を選んだ方のみ】

日用品以外の買回り品の買い物環境に不便・不満を感じる理由は何ですか。(○は2つまで)

- 1 店までの交通の便が悪い
- 2 駐車場・駐輪場が利用しにくい
- 3 品揃えが少ない
- 4 新製品・流行品がない
- 5 好きなブランドがない
- 6 買い物と併せて食事や娯楽などを楽しめる場所が少ない
- 7 おしゃれな雰囲気がない
- 8 まちのにぎわい・楽しさがない
- 9 買回り品を購入できる店が少ない
- 10 その他

(具体的に：)

問 16 あなたが市内で買物をしたくなるには、横須賀にどのような環境が必要ですか。

(○は2つまで)

- 1 市内公共交通機関の利便性が高くなること
- 2 駅周辺にたくさんの店があること
- 3 特徴的・個性的なショップが増えること
- 4 商店街にさまざまな種類のお店がそろうこと
- 5 商業施設などに東京や横浜にある流行のブランドやショップが入ること
- 6 映画館などの娯楽施設が併設された複合型商業施設(ショッピングモールなど)があること
- 7 オープンスペースなどを活用した雰囲気のよいショッピングエリアがあること
- 8 路上イベントなどにより、市街地ににぎわいがあること
- 9 その他

(具体的に：)

◆あなたご自身について

F 1 あなたの性別は、次のうちどれにあたりますか。(○は1つ)

※多様性の観点から、選択肢に「その他」「無回答」を設けています。身体上・戸籍上の性別に関わらず、ご自身が自認されるものに○をお願いします。

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他
- 4 無回答

F 2 あなたの年齢は、次のうちどれにあたり
ますか。(○は1つ)

- 1 18～19 歳
- 2 20～24 歳
- 3 25～29 歳

F 3 あなたの世帯の状況は、次のうちどれにあ
たりますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 単身世帯(一人暮らし)
- 2 夫婦のみの世帯
- 3 小学生未満の子どもがいる
- 4 小学生～中学生の子どもがいる
- 5 1～4に該当なし

F 4 あなたのお住まいの地域は、次のうちどれにあ
たりますか。(○は1つ)

- 1 本庁地区
稲岡町、不入斗町、上町、小川町、大滝町、楠ヶ浦町、
坂本町、佐野町、猿島、汐入町、汐見台、新港町、
田戸台、鶴が丘、泊町、日の出町、深田台、富士見町、
平成町、平和台、望洋台、本町、緑が丘、三春町、
安浦町、米が浜通、若松町
- 2 追浜地区
浦郷町、追浜町、追浜東町、追浜本町、追浜南町、
湘南鷹取、鷹取、夏島町、浜見台
- 3 田浦地区
田浦町、田浦泉町、田浦大作町、田浦港町、長浦町、箱
崎町、船越町、港が丘
- 4 逸見地区
安針台、西逸見町、東逸見町、逸見が丘、山中町、
吉倉町
- 5 衣笠地区
阿部倉、池上、大矢部、金谷、衣笠町、衣笠栄町、
公郷町、小矢部、平作、森崎
- 6 大津地区
池田町、大津町、桜が丘、根岸町、走水、馬堀町、
馬堀海岸
- 7 浦賀地区
浦賀、浦賀丘、浦上台、小原台、鴨居、光風台、
西浦賀、東浦賀、二葉、南浦賀、吉井
- 8 久里浜地区
岩戸、内川、内川新田、久比里、久村、久里浜、
久里浜台、佐原、神明町、長瀬、ハイランド、舟倉、若
宮台
- 9 北下浦地区
粟田、グリーンハイツ、津久井、長沢、野比、光の丘
- 10 西地区
秋谷、芦名、太田和、荻野、子安、佐島、佐島の丘、湘
南国際村、須軽谷、武、長井、長坂、林、御幸浜、山科
台

質問は以上です。

ご協力ありがとうございました。

横須賀市の市政について、ご意見などがありましたら
自由にご記入ください。

『若い世代への生活意識調査』報告書

発行年月：平成31年（2019年）2月

編集・発行：横須賀市政策推進部都市政策研究所

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

電話：046 - 822 - 9784 FAX：046 - 822 - 9285